



M3 Warehouse Mobility 用 Infor Factory Track ユーザーガイド

リリース 6.00.x

重要事項

本書に含まれる資料(あらゆる補足情報を含む)は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料(当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む)、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約(この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます)に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的(以下、「目的」という)として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲読に基づく権利、権原及び利益(すべての修正、翻訳または翻案を含む)は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは本書に含まれる資料を正確で完全なものとするべく注意を払っていますが、Inforは本書に含まれる情報が完全で、誤植やその他の誤りがなく、使用者の特定要件に合致するものであることを保証しません。したがって、Inforは、本書(あらゆる補足情報を含む)の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

リリース: Infor Factory Track 6.00.x

発行日: 2018年6月18日

ドキュメントコード: ft_6.00.x_ftm3wmug__ja-jp

目次

Warehouse Mobility について	5
Infor へのお問い合わせ.....	5
第 1 章 : Warehouse Mobility インタフェースの概要	7
モバイルスキャナでの Warehouse Mobility の使用.....	8
第 2 章 : トランザクション処理	11
循環棚卸トランザクション.....	11
検査トランザクション.....	15
移動トランザクション.....	18
梱包移動トランザクション.....	23
品揃えと梱包トランザクション.....	27
配送関連文書の印刷トランザクション.....	50
梱包ラベルの印刷トランザクション.....	52
格納トランザクション.....	54
受入トランザクション.....	58
在庫照会トランザクション.....	69
包含梱包トランザクション.....	81
梱包再梱包トランザクション.....	85
梱包更新トランザクション.....	94
資材出庫トランザクション.....	96
作業報告トランザクション.....	105
倉庫移動トランザクション.....	110
ユーザ設定トランザクション.....	116
格納トランザクションの確認.....	117

Warehouse Mobility について

Infor Warehouse Mobility は包括的で信頼性の高いデータコレクションシステムで、工程と ERP システムの間をリアルタイムで情報をストリーミングして、作業を簡素化します。Infor Warehouse Mobility では、ERP システムで全ての折衝に対応します。ユーザはトランザクションを選択して、モバイル無線周波数 (RF) スキャナでバーコードされたデータをスキャンします。Infor Warehouse Mobility はデータを初期化し、ERP システムに転送します。ERP からのフィードバックは、受信したそのままユーザに表示されます。

モバイルスキャナ デバイスでの Warehouse Mobility の使用に関する情報は、8 ページの「モバイルスキャナでの Warehouse Mobility の使用」を参照してください。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するご質問は、Infor Xtreme サポートポータル (<http://www.infor.com/inforxtreme>) をご利用ください。

製品リリース後にドキュメントを更新した場合は、Infor Xtreme に新しいバージョンを掲載します。この Web サイトでドキュメントの改訂を定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントについてのご意見は、documentation@infor.com にお寄せください。

Web ブラウザでアクセスすることで、モバイルスキャナで Warehouse Mobility トランザクションを使用できます。スキャナ上のファンクションボタンを押すか、画面上のボタンをタップすることで、インタフェースをナビゲートし、トランザクションでタスクを実行できます。情報は、物理キーボードまたはタッチスクリーンキーボードを使用してスキャン、または手動で入力できます。

基本トランザクションインタフェースは、5 つのメインセクションから構成されています。

- 上のセクション
- ヘッダセクション
- タスクエリア
- 一覧
- 機能ボタン

上のセクション

このセクションは濃い灰色で、スキャナ画面の上に表示されます。トランザクションプロファイル名はセクションの上半分で表示され、画面名はその下に小フォントで表示されます。

ヘッダセクション

このセクションは白で、上のセクションとタスクエリアの間に表示されます。現在選択しているレコードに関する重要情報が表示されますが、移動報告画面のようなメインメニューと報告画面でのみ表示されます。

タスクエリア

このセクションは青で、白の入力フィールドがあり、フィールド/リストのセクション上に表示されます。このセクションでは現行のタスクが表示されます。

- [検索] 画面では、現在選択している入力フィールドを表示
- [リスト] 画面で、リストについての情報を表示
- [レポート] 画面で、現在選択しているフィールドおよび該当する場合は、提案データが表示されます。
- [プロンプト] で、プロンプトテキストが表示されます。

フィールド/リストのセクション

このセクションは白で、機能ボタンの上に表示されます。このセクションは、フィールドレコードとリストレコードの表示に使用されます。フィールドとレコードをこのセクションからタップして選択できます。場合に

よっては、複数のレコードを一度に選択できます。緑のチェックマークでは、値の入力が確認されたことが示されます。

機能ボタン

機能ボタンは、スキャナ画面の下に表示されます。次のボタンが利用可能です。

注: ボタンのいくつかは特定の画面では利用できない場合があります。

- [戻る]: 1 つ前の画面に戻ります。
- [参照]: 選択できる一覧が開きます。
- [次]: 1 つの処理をトリガーして、次の画面を表示します。
- [オプション]: リストで 1 つのオプションのみ利用可能な場合、選択できるオプションの一覧が開きます。このオプションは [オプション] ボタンの代わりに表示されます。
- [選択]: レコードを選択します。

スキャナ上でタップするか、対応する機能ボタンを押すことで、ボタンを選択できます。

モバイルスキャナでの Warehouse Mobility の使用

モバイルスキャナデバイスの Infor Warehouse Mobility を使用して、在庫、検査、移動、梱包、ピック、印刷、格納、および受入トランザクションを実行できます。Web ベース メニューを使用して、Warehouse Mobility トランザクションへアクセスできます。詳細は、「Warehouse Mobility トランザクションへのアクセス」を参照してください。

次のモバイルスキャナ トランザクションは Warehouse Mobility を使用しながら利用できます:

- 11 ページの循環棚卸トランザクション
- 15 ページの検査トランザクション
- 18 ページの移動トランザクション
- 23 ページの梱包移動トランザクション
- 27 ページの品揃えと梱包トランザクション
- 50 ページの配送関連文書の印刷トランザクション
- 52 ページの梱包ラベルの印刷トランザクション
- 54 ページの格納トランザクション
- 58 ページの受入トランザクション
- 117 ページの格納トランザクションの確認
- 110 ページの倉庫移動トランザクション
- 69 ページの在庫照会トランザクション
- 81 ページの包含梱包トランザクション
- 85 ページの梱包再梱包トランザクション
- 94 ページの梱包更新トランザクション
- 105 ページの作業報告トランザクション

- 96 ページの資材出庫トランザクション
- 116 ページのユーザ設定トランザクション

この章では、Factory Track M3 の Warehouse Mobility に関連するトランザクション処理について説明します。

循環棚卸トランザクション

循環棚卸トランザクションを使用して実棚卸を報告します。

「このトランザクションのカスタマイジングの詳細については、循環棚卸トランザクションパラメータの設定を参照してください。

このトランザクションは 4 つの画面で構成されます。

- 11 ページの実地棚卸一覧
- 12 ページの実地棚卸明細の検索
- 12 ページの実地棚卸明細一覧
- 13 ページの実地棚卸明細報告

循環棚卸トランザクションを開くには、メインメニューから、循環棚卸トランザクションと関連付けられているトランザクションプロファイルを選択します。

注: 品目番号のスキャン時に、品目番号ではなく別名番号をスキャンするオプションがあります。

実地棚卸明細一覧

このセッションを使用して、棚卸を行う実地棚卸を選択します。再棚卸数が [0] の未計数明細が 1 つ以上ある実地棚卸が一覧表示されます。実地棚卸の実行予定日順に表示されます。

「実地棚卸一覧画面の使用」を参照してください。

実地棚卸一覧画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
第 1 レコードの自動選択	[0]:いいえ [1]:はい、毎回	[1]	[0]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[2]:リストのレコードは 1 つだけです。		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

「循環棚卸トランザクションパラメタ:この画面に影響するパラメータの設定手順については、実地棚卸一覧」。

実地棚卸明細検索画面

この画面で、棚卸する在庫明細を検索したり、空の保管場所を報告したり、品目をスキャンして新規明細を作成したりします。

「実地棚卸明細検索画面の使用」を参照してください。

実地棚卸明細検索画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドデータを記憶	[1]:保管場所 [A]:値はこの画面で記憶されて、自動的に確認されます。 [C]:値はこの画面で記憶されますが自動的に確認されません。 空白:値は記録されません。 注: 検索画面で新しい検索が行われるまで値は記録されます。	[1=A]	未入力

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

「循環棚卸トランザクションパラメタ:この画面に影響するパラメータの設定手順については、実地棚卸明細検索」。

実地棚卸明細一覧画面

この画面で、棚卸を行う実地棚卸を選択します。この画面で表示される明細には、実地棚卸明細の検索画面で実行された検索の結果が反映されます。

「実地棚卸明細一覧画面の使用」を参照してください。

実地棚卸明細一覧画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
第 1レコードの自動選択	[0]:いいえ	[1]	[0]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[1]:毎回、はい [2]:リストのレコードは 1 つだけです。		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

「循環棚卸トランザクションパラメタ:この画面に影響するパラメータの設定手順については、実地棚卸明細一覧。

実地棚卸明細報告画面

この画面で、実地棚卸明細の棚卸を報告を選択します。

「実地棚卸明細報告画面の使用」を参照してください。

実地棚卸明細報告画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドデータの自動確認	<p>以下はこの画面の入力フィールドです:</p> <p>[1]:数量 [2]:計量重量</p> <p>ユーザは入力フィールドに次のオプションを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [A]:いいえ。ユーザはスキャンするか、手動でデータを入力して値を確認する必要があります。 • [B]:はい。値は自動的に確認されます。 • [C]:はい。奨励データが空白でない場合、値は自動的に確認されます。 • [D]:はい。奨励データが空白の場合、値は自動的に確認されます。 	[1=B;2=B]	[1=A;2=A]
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
ロットとコンテナの強制検証	[0]:ロットとコンテナの値は自動的に確認されず。	[1]	[0]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[1]:ロット番号はスキャンして確認する必要があります。コンテナの値は自動的に確認されます。 [2]:コンテナ番号はスキャンして確認する必要があります。ロットの値は自動的に確認されます。 [3]:ロット番号とコンテナ番号はスキャンして確認する必要があります。		
入力フィールドの順序	次が入力フィールドの順序です: 1 保管場所 2 品目 3 ロット 4 コンテナ 5 数量 6 計量重量	[1;2;6;5]	[1;2;3;4;5;6]
計量重量入力フィールドの奨励データ	[0]:未入力 [1]:はい。在庫 ID フィールドのデフォルト値は「1」です。はい。在庫 ID フィールドのデフォルト値です。	[1]	[0]
数量入力フィールドの奨励データ	[0]:未入力 [1]:はい。現行手持在庫データはデフォルトで「1」です。はい。現行手持在庫はデフォルト設定です。	[1]	[0]
数量の確認	[0]:いいえ、数量は確認されません。 [1]:はい、報告済数量が現行手持在庫と一致しない場合ユーザに警告が表示されます。	[1]	[0]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

「循環棚卸トランザクションパラメタ:この画面に影響するパラメータの設定手順については、実地棚卸明細報告。

検査トランザクション

検査トランザクションを使用して、購買オーダー明細を承認および不合格することができます。このトランザクションのカスタマイズの詳細については、検査トランザクションパラメータの設定

おのトランザクションは 3 つの画面で構成されます。

- 15 ページの在庫 ID 検索
- 15 ページの在庫 ID 一覧
- 16 ページの検査報告

検査トランザクションを開くには、メインメニューから、検査トランザクションと関連付けられているトランザクションプロファイルを選択します。

注: 品目番号のスキャン時に、品目番号ではなく別名番号をスキャンするオプションがあります。

在庫 ID 検索画面

この画面で、検査数量が残っている受入番号で在庫 ID を検索します。

「在庫 ID 検索画面の使用」を参照してください。

在庫 ID 検索画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
検索フィールド検索順序	[1]:保管場所 [2]:品目 [3]:ロット [4]:コンテナ [5]:受入番号	[2;3;4]	[1;2;3;4;5]
フィルタフィールドの順序	[1]:検索 [2]:保管場所 [3]:品目 [4]:ロット [5]:コンテナ [6]:受入番号	[1;3;6]	[1;2;3;4;5;6]

注: パラメータ値を指定しない場合や、無効な値を指定した場合は、デフォルト値が使用されます。

この画面に影響するパラメータの設定手順については、検査トランザクションパラメータ:在庫 ID 検索。

在庫 ID 一覧画面

この画面で、検査する受入番号を選択します。この画面には、在庫 ID 検索画面で実行した検索の結果である在庫 ID が表示されます。

「在庫 ID 一覧画面の使用」を参照してください。

在庫 ID 一覧画面パラメタ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
第1レコードの自動選択	[0]:いいえ [1]:毎回、はい [2]:リストのレコードは1つだけです。	[1]	[0]

注: パラメタ値を指定しない場合や、無効な値を指定した場合は、デフォルト値が使用されます。

この画面に影響するパラメタの設定手順については、検査トランザクションパラメタ:在庫 ID 一覧。

検査報告画面

この画面で、選択した受入番号の承認または不合格の程度を報告します。

「報告画面の使用」を参照してください。

検査報告画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドデータの自動確認	[1]:処理 [2]:数量 [3]:先保管場所 [4]:拒否理由 [A]:ユーザは値をスキャンして確認する必要があります。 [B]:値は自動的に確認されます。 [C]:奨励値が空白でない場合、値は自動的に確認されます。 [D]:奨励数が空白である場合、値は自動的に確認されます。	[1=B;2=A]	[1=A;2=A;3=A]
	注: 空白の奨励データがある必須フィールドは自動確認できません。これはこの設定に関係なく入力が必要とします。		
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ	[1]	[0]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[1]:はい		
入力フィールドの順序	入力フィールド: [1]:処理 [2]:数量 [3]:保管先 [4]:拒否理由 情報フィールドは次の ものです: [5]:品目 [6]:ロット [7]:コンテナ	[1;4;2;3]	[1;5;6;7;4;2;3]
処理入力フィールドの奨励データ	[1]:承認 [2]:不合格	[1]	未入力
不合格理由入力フィールドの奨励データ	任意の理由コード	[BQ]	未入力
先保管場所入力フィールドの奨励データ	任意の保管場所 [*SYS]:システム奨励値	[検査済]	[*SYS]
入力フィールドの奨励データの確認	[1]:数量 [2]:先保管場所 [A]:いいえ。スキャンした値が奨励値と検証されていません。 [B]:はい。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。 [C]:はい。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。 [D]:はい。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。 [E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。 [F]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。	[1=F;2=B]	[1=A;2=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくはいけません。		
	[H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくはいけません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。		
	[I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。		
	値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。		

注: パラメタ値を指定しない場合や、無効な値を指定した場合は、デフォルト値が使用されます。
この画面に影響するパラメタの設定手順については、検査トランザクションパラメタ:レポート。

移動トランザクション

移動トランザクションを使用して、1つの保管場所から別の保管場所に在庫 ID または全コンテナを移動できます。このトランザクションは、移動される品目の宛先を提示するために、M3 の直接格納ロジックを使用するように設定できます。

このトランザクションの設定についての詳細は、移動トランザクションパラメタの設定を参照してください。

おのトランザクションは 3 つの画面で構成されます。

- 19 ページの在庫 ID 検索
- 19 ページの在庫 ID 一覧
- 20 ページの移動報告画面

移動トランザクションを開くには、メインメニューから、移動トランザクションと関連付けられているトランザクションプロファイルを選択します。

注: 品目番号のスキャン時に、品目または別名番号をスキャンするオプションがあります。

在庫 ID 検索画面

この画面で、移動する在庫 ID またはコンテナを検索します。全コンテナの移動 (コンテナスキャン時のみ) パラメータが [1] に設定されている場合、コンテナ内の全在庫 ID を単一の移動に移動できます。1 つのコンテナから別のコンテナに在庫 ID を移動することもできます。

「在庫 ID 検索画面の使用」を参照してください。

在庫 ID 検索画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
全コンテナの移動 (コンテナスキャン時のみ)	[0]:いいえ。移動は毎回在庫 ID によって実行されます。 [1]:はい。コンテナが検索で使用される唯一の値 (保管場所、品目、およびロット = 空白) である場合、コンテナ全体が移動され、移動報告画面の入力フィールドは先保管場所のみとなります。コンテナには 1 つまたは複数の在庫 ID を含めることができます。	[1]	[1]
検索フィールド検索順序	[1]:保管場所 [2]:品目 [3]:ロット [4]:コンテナ	[1;4;2]	[1;2;3;4]
フィルタフィールドの順序	[1]:検索 [2]:保管場所 [3]:品目 [4]:ロット [5]:コンテナ	[1;3;4]	[1;2;3;4;5]

注: パラメータ値を指定しない場合や、無効な値を指定した場合は、デフォルト値が使用されます。

「移動トランザクションパラメータ:この画面に影響するパラメータの設定手順については、在庫 ID 検索を参照してください。

在庫 ID 一覧画面

この画面で、移動する在庫 ID を選択します。この画面には、[在庫 ID 検索] 画面で実行した検索の結果である在庫 ID が表示されます。

「在庫 ID 一覧画面の使用」を参照してください。

在庫 ID 一覧画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
第 1 レコードの自動選択	[0]:いいえ [1]:毎回、はい [2]:リストのレコードは 1 つだけです。	[1]	[0]
移動不能在庫 ID の非表示	[0]:いいえ [1]:割当不能在庫 ID の非表示。 [2]:移動不能在庫 ID の非表示 注: <ul style="list-style-type: none"> パラメータが 1 に設定されていて、ID が割当可能でないまたは割当可能総数 = 0 の場合、在庫 ID は表示されません。 パラメータが 2 に設定されていて移動可能総数 = 0 の場合、在庫 ID は表示されません。 	[1]	[0]
表示対象数量	[0]:手持在庫合計 [1]:引当て可能数量 (手持在庫 - 引当数量) [2]:移動可能数量 (手持在庫 - ピックリスト数量 - 保留格納数量)	[1]	[0]

注: パラメータ値を指定しない場合や、無効な値を指定した場合は、デフォルト値が使用されます。

「移動トランザクションパラメータ:この画面に影響するパラメータの設定手順については、在庫 ID 一覧を参照してください。

移動報告画面

この画面で、在庫 ID またはコンテナの移動を報告します。

「移動報告画面の使用」を参照してください。

移動報告画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドデータの自動確認	[1]:数量 [2]:保管先 [3]:計量重量 [A]:ユーザは値をスキャンして確認する必要があります。 [B]:値は自動的に確認されます。 [C]:奨励値が空白でない場合、値は自動的に確認されます。 [D]:奨励数が空白である場合、値は自動的に確認されます。 注: 必須フィールドに値が提示されない場合、このパラメータの設定に関係なくそのフィールドを自動的に確認することはできません。	[1=C;2=B]	[1=A;2=A;3=A]
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
計量重量入力	[0]:オプションフィールド [1]:必須フィールド	[1]	[0]
必須入力フィールド	[1]:先コンテナ 注: 次の入力フィールドは常に必須です。 • 数量 • 先保管場所	[1]	未入力
入力フィールドの順序	情報フィールドは次のものです: [1]:保管元 [2]:品目 [3]:ロット [4]:コンテナ [7]:手持在庫 入力フィールド: [5]:数量	[1;4;6;2;3]	[1;2;3;4;7;5;8;6;9]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[6]:保管先 [8]:計量重量 [9]:先コンテナ 注: [計量重量] は在庫ID 全体を移動した場合にのみ指定できます。		
数量入力フィールドの奨励データ	任意の数量または [A]:手持在庫合計 [B]:引当て可能数量 (手持在庫 - 引当数量) [C]:移動可能数量 (手持在庫 - ピックリスト数量 - 保留格納数量)	[B]	[A]
先保管場所入力フィールドの奨励データ	[任意の保管場所] [*SYS]:M3 システム直接格納ロジックに準拠した保管場所 [*開始]:元保管場所フィールドと同じ 注: [*開始] を使用して、保管場所を変更せずにコンテナ間で品目を移動できるように、自動確認する先保管場所フィールドを設定します。	[*SYS]	未入力
入力フィールドの奨励データの確認	入力フィールド: [1]:数量 [2]:保管先 ユーザは、フィールドの値を次に設定できます。 [A]:いいえ。スキャンした値が奨励値と検証されていません。 [B]:はい。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。 [C]:はい。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。	[1=A;2=E]	1=A;2=A

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[D]:はい。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。		
	[E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。		
	[F]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。		
	[G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくはいけません。		
	[H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくはいけません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。		
	[I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。		
	注:		
	<ul style="list-style-type: none"> 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。 データが指定されない場合、値 A がデフォルトになります。 		

注: パラメタ値を指定しない場合や、無効な値を指定した場合は、デフォルト値が使用されます。

「移動トランザクションパラメタ:移動報告」で、この画面に影響するパラメタの設定手順について参照してください。

梱包移動トランザクション

梱包移動トランザクションを使用して、梱包、ドックに梱包移動を報告または出庫の確認を行うことができます。画面には、ユーザに先保管場所フィールドを指定するよう誘導する納入情報が表示されます。

「このトランザクションの設定についての詳細は、梱包移動トランザクションパラメータの設定を参照してください。

「梱包移動トランザクションの使用」を参照してください。

梱包移動画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
報告処理	[0]:なし (情報のみ) [1]:梱包保管場所に移動 [2]:ドック保管場所に移動 [3]:出庫確認 注: 処理が梱包保管場所に移動またはドック保管場所に移動の場合、社内の梱包移動が報告できません。	[2]	[1]
入力フィールドデータの自動確認	[1]:保管先 [A]:ユーザは値をスキャンして確認する必要があります。 [B]:値は自動的に確認されます。 [C]:はい。奨励データがない場合、値が自動的に確認されます。 [D]:はい。奨励データがない場合、値が自動的に確認されます。 注: 空白の奨励データがある必須フィールドは自動確認できません。これはこの設定に関係なく入力を必要とします。	[1=B]	[1=A]
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]: はい	[1]	[0]
梱包フィールド検索順序	[1]:納入梱包 [2]:社内梱包 注: 処理が情報であるかまたは出庫を確認している場合、社内梱包移動は適用されません。	[2;1]	[1;2]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドデータを記憶	[1]:保管先 [A]:値は記憶されて自動的に確認されます。 [C]:値はこの画面で記憶されますが自動的に確認されません。 注: • 空白:空白は値が記憶されないことを意味します。 • 入力フィールドのデータは終了機能まで記憶されます。	[1=A]	未入力
入力フィールドの順序	入力フィールドの順序: [1]:梱包 [2]:保管先 情報フィールドの順序: • [3]:保管元 • [4]:出発日/時間 • [5]:納入方法 • [6]:ルート/出発 • [7]:納入/出荷 • [8]:顧客 • [9]:顧客名 • [10]:積荷ドア • [11]:配送梱包状況 • [12]:包含梱包 • [13]:最終配送先場所	[1;4;5;6;2]	[1;2;3;4;5;6;7;8;9;10;11;12;13]
先保管場所入力フィールドの奨励データ	[1]:品揃明細状況 40 [2]:品揃明細状況 50 [3]:品揃明細状況 60 値は次のとおりです。 A:空白 (奨励値なし) B:通常保管場所 (MMS002) C:梱包保管場所 (MMS002) D:ドック保管場所 (MMS002)	[DOCKLOC01; 1=C;2=D;3=E]	[1=A;2=A;3=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	E:ドック保管場所 (クロスドック論理) - 任意の保管場所 注: <ul style="list-style-type: none"> • B は 1 には適用しません。 • C は 2 には適用しません。 • D は 2 には適用しません。 • 先保管場所は、梱包のすべての明細に対して同じ保管場所が取得された場合にのみ推奨されます。 • 文字の値を設定すると、すべての状況に適用されます 		
入力フィールドの奨励データの確認	[1]:保管先 <ul style="list-style-type: none"> • [A]:いいえ。ユーザはどの値もスキャンでき、値 (スキャンされた奨励値) が一致する場合、この値の奨励値との比較検証は行われません。 • [B]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。 • [C]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。 • [D]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。 	[1=C]	[1=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> • [E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。 • [F]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。 • [G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。 • [H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 • [I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 		
	注: 値 C、D、F、G、H、Iは、数値フィールドにのみ適用されます。		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

品揃えと梱包トランザクション

ピックと梱包トランザクションをピック、梱包、ピックと梱包または品目の補充に使用することができます。それぞれの品揃表明細で、次の処理を実行できます。

- 梱包してまたは梱包せずに梱包保管場所へ移動
- 梱包してまたは梱包せずにドック保管場所へ移動
- 移動しないで梱包

品揃表で、次の処理を実行できます。

- 梱包保管場所に移動
- ドック保管場所に移動
- 出庫確認

このトランザクションのカスタマイジングの詳細については、ピックと梱包トランザクションパラメータの設定を参照してください。

このトランザクションは 6 つの画面で構成されます。

- 28 ページのピックリスト検索画面
- 31 ページのピックリスト画面
- 32 ページの品揃表明細画面
- 33 ページの品揃表明細画面レポート
- 47 ページの在庫 ID 一覧画面
- 48 ページの品揃表報告画面

ピックと梱包トランザクションを開くには、メインメニューからピックと梱包トランザクションと関連付けられているトランザクションプロファイルを選択します。

注: 品目番号のスキャン時に、品目番号ではなく別名番号をスキャンするオプションがあります。

ピックリスト検索画面

この画面で、フィルタフィールドの数に基づいて開く品揃表を検索します。納入またはサフィックスをスキャンまたは入力して、特定の品揃表データを検索します。

ピックリスト検索画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
機器入力フィールドのデフォルトデータ	任意の機器	P1	空白 (デフォルトなし)
開始日付入力フィールドのデフォルトデータ	数値 (単一) 注: パラメータの値が [N] に設定されている場合、次の基準を満たす品揃表が一覧表示されます。 出発日付 >= 今日 - N 日。	[5]	空白 (全てを含む)
開始時刻入力フィールドのデフォルトデータ	このフィールドの入力データ: • [HH.MM] (24 時間制) 形式の特定時刻、または	[07.10] (7.10 am) [3] (-3 時間)	空白 (全てを含む)

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> [N]; ここで N は現在時刻から戻る時間数。 <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> 形式が HH.MM に設定されている場合:[開始時間] は [開始日付] にのみ適用されず。[開始日付] と [終了日] の間の日数は選択には影響しません。 形式が [N] に設定されている場合:設定されたすべての [開始日付] は無視されます。 		
ピックリスト数量入力フィールドのデフォルトデータ	数値 (範囲) 注: このパラメータは、品揃表の最大数を設定して [ピックリスト] 画面で自動選択する品揃表の数を管理します。このパラメータは 品揃表明細数量入力フィールドのデフォルトデータと組み合わせて使用して、品揃表の最小数を選択するものが適用されます。	[3]	[1]
ピックリスト明細数量入力フィールドのデフォルトデータ	数値 (単一) 注:これを「1-1」に設定すると1つの品揃表明細のみを含みます。	[5-10]	空白 (制限なし)
ピックリスト明細数量入力フィールドのデフォルトデータ	数値 (単一) このパラメータは、品揃表明細の最大数を設定して [ピックリスト] 画面で自動選択する品揃表の数を管理します。 注:このパラメータはパラメータ 品揃表明細数量入力フィールドのデフォルトデータと組み合わせ	[30]	空白 (制限なし)

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	働き、品揃表の最小数 を選択するものが適用 されます。		
オーダー区分入力フィールド のデフォルトデータ	<ul style="list-style-type: none"> CO:顧客オーダー DO:配送オーダー REPL:補充オーダー MO:製造オーダー RO:取得オーダー WO:作業オーダー ALL:補充オーダーを除く全オーダー区分 注: 補充 (REPL) はその 他オーダー区分と組み合わ せることはできません。	[CO;DO]	全て
梱包状況入力フィールド のデフォルトデータ	数値 (複数)	[10;20]	空白 (全てを含む)
品揃え状況入力フィールド のデフォルトデータ	任意の数値 (複数値) 注: このパラメータは品揃 表のヘッダに適用されま す。ピックリスト明細画面 には、ヘッダと同じ品揃 え状況がある明細のみ が一覧表示されます。	[40;60]	[40;50;60]
ルート入力フィールドの デフォルトデータ	任意のルート	[ROUT66]	空白 (デフォルトなし)
終了日入力用デフォルト データ	数値 (単一) 注: パラメータの値が [N] に設定されている場合、 次の基準を満たす品揃 表が一覧表示されます。 出発日付 <= 今日 + N 日数。	[5]	空白 (全てを含む)
終了時刻入力フィールド のデフォルトデータ	[HH.MM] (24 時間制) 形 式で指定します または [N]; ここで N は現在時刻 からの時間数。 注: <ul style="list-style-type: none"> 形式が HH.MM に設 定されている場合:[終 	[17.10] (5.10 pm) [4] (+4 時間)	空白 (全てを含む)

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	了時間] は [終了日] にのみ適用されます。 [開始日付] と [終了日] の間の日数は選択には影響しません。		
	<ul style="list-style-type: none"> 形式が [N] に設定されている場合: 設定されたすべての [終了日] は無視されます。 		
ゾーン入力フィールドのデフォルトデータ	任意のゾーン (複数または範囲)	[AA-CC] [AA;EE;Y1]	空白 (全てを含む)
入力フィールドの順序	入力フィールドの順序:	[1;3]	[1;2;3;4;5;6;7;8]
	<ul style="list-style-type: none"> [1]: オーダ区分 [2]: ゾーン [3]: 納入 [4]: ルート [5]: 機器 [6]: 顧客 [7]: 出荷 [8]: ウェーブ 		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

この画面に影響するパラメータの設定手順については、トランザクションパラメータのピックと梱包を参照してください。ピックリスト検索

ピックリスト画面

この画面では、[ピックリスト検索] 画面で実行した検索に基づく開いた品揃表を一覧表示します。

梱包/ドックに移動処理 (梱包あり/なし):

- 「明細品揃状況 = ピックリスト品揃状況」が >0 という明細がない品揃表が一覧表示されます。
- 梱包する明細数のフィルタがありません。

梱包処理のみ:

- 「梱包する残数量 >0」が >0 という明細がない品揃表が一覧表示されます。
- 品揃えする明細数のフィルタがありません。

配送関連文書の印刷

- 品揃えまたは梱包する明細数のフィルタがありません。

品揃表の選択はこの順序でソートされます。

- ピック者
- 品揃え順

- 納入日/時間
- 納入
- 接尾辞

現行ユーザに割り当てられたピックリストが最初に表示されてそれから未入力品揃え者のピックリストが表示されます (割当済品揃え者に関係なく、すべてのピックリストがリストされている処理 Del Docs には適用されません)。

ユーザはリストから 1 つまたは複数の品揃表を選択できます。

ピックリスト画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
次へを押したときの処理	<ul style="list-style-type: none"> • [1]:[品揃表明細] 画面を表示します。 • [2]:[品揃表報告] 画面を表示します。 • [3]:配送関連文書の印刷 <p>注: 値が [3] として設定されている場合、3;X という書式を使用して特定配送関連文書の印刷プロファイルを使用できません。ここで X は配送関連文書プロファイル ID (例えば 3;PDD1) です。プロファイルに空白が残っている場合、デフォルトプロファイルを使用します。</p>	[2] [3;PDD1]	[1]
次を自動トリガ	<p>[0]:いいえ</p> <p>[1]:はい - 毎回</p> <p>[2]:はい - 一覧に 1 つのレコードしかない場合</p>	[1]	[0]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

この画面に影響するパラメータの設定手順については、トランザクションパラメータのピックと梱包を参照してください。ピックリスト。

品揃表明細画面

この画面では、[ピックリスト] 画面で選択した品揃表に基づく開いた品揃表を一覧表示します。品揃表明細を次のようにしてソートします。M3 ソート (例えば保管場所)/納入/サフィックス/品揃表レポート番号。

梱包/ドックに移動処理 (梱包あり/なし):

- 「明細品揃状況=品揃表品揃状況」という明細のみ一覧表示されます。

- 明細品揃表にフィルタがありません。

梱包処理のみ:

- 「梱包する残数量 >0」という明細のみ一覧表示されます。
- 明細品揃状況にフィルタがありません。

補充:

- 明細品揃または明細梱包状況にフィルタがありません。
- 設定処理は適用されず、毎回出庫確認をします。

品揃表明細画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
第1レコードの自動選択	[0]:いいえ [1]:はい、毎回 [2]:リストのレコードは1つだけです。	[1]	[0]
在庫 ID 検索 - 順序	[1]:保管場所 [2]:品目 [3]:ロット [4]:コンテナ (SSCC)	[3;4]	[3;4;2;1]
在庫 ID 検索 - 在庫ゾーン	任意のゾーン	[P1]	空白 (デフォルトなし)
在庫 ID 検索 - トリガ	[0]:いいえ [1]:はい 注: このパラメータを有効にすると、スキャンされたすべてのものに対して在庫 ID の検索が開始されます。	[1]	[0]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

この画面に影響するパラメータの設定手順については、トランザクションパラメータのピックと梱包を参照してください。品揃表明細

品揃表明細画面レポート

この画面で次のことを報告します。梱包に移動 (梱包ある/なし)、ドックに移動 (梱包ある/なし)、梱包のみまたは補充。

品揃表検索画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
報告処理	<ul style="list-style-type: none"> [1]: 梱包なしで梱包保管場所に移動 [2]: 梱包なしでドック保管場所に移動 [3]: 梱包して梱包保管場所に移動 [4]: 梱包してドック保管場所に移動 [5]: 移動しないで梱包 <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> 補充オーダーはパラメータ設定に関係なく、常に在庫確認「として」報告されます。 以前の状況が 40 である場合、処理 5 は品揃明細状況を 50 に変更します。品揃明細状況が 50 または 60 の場合、状況は変化しません。 このパラメータが [5] に設定されている場合、補充オーダーは [ピックリスト画面] には表示されません。 	[4]	[3]
入力フィールドデータの自動確認	<p>入力フィールド:</p> <ul style="list-style-type: none"> [1]: 保管先 [2]: 保管場所 [3]: 品目 [4]: ロット [5]: コンテナ [6]: 数量 [7]: 梱包 [8]: 計量重量 <p>[A]: いいえ - データをスキャンまたは入力による確認が必要。</p> <p>[B]: はい - 毎回フィールド自動確認。</p>	[2=A;3=B;7=C]	[1=A;2=A;3=A;4=A;5=A;6=A;7=A;8=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<p>[C]:はい - 奨励データがない場合、フィールドが自動的に確認されます。</p> <p>[D]:はい - 奨励データがある場合、フィールドが自動的に確認されます。</p> <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> 奨励値のない必須フィールドでは、このパラメタの設定は無視されて、ユーザによる値のスキャンが必要となります。 このパラメタは在庫ID 検索後、保管場所、品目、ロット、コンテナおよび数量には適用されません。 		
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
在庫 ID 参照 - 在庫ゾーン	任意のゾーン	[P1]	空白 (デフォルトなし)
在庫 ID 参照 - 数量入力フィールドの自動確認	[0]:いいえ [1]:はい 注: このパラメタは、[品揃表明細] 画面から残高ID の検索が実行された場合にも適用されます。	[1]	[0] ロットまたはコンテナフィールドがスキャンに設定されている場合。
在庫 ID 検索 - 強制してロットとコンテナの確認します	<p>値に基づいて、次の項目を確認します:</p> <ul style="list-style-type: none"> [0]:いいえ <ol style="list-style-type: none"> ロットは自動で確認されます。 コンテナは自動で確認されます。 [1]:ロット <ul style="list-style-type: none"> ロットをスキャンする必要があります。 コンテナは自動で確認されます。 	[3]	[0]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> • [2]:コンテナ <ul style="list-style-type: none"> • ロットは自動で確認されます。 • コンテナをスキャンする必要があります。 • [3]:ロットとコンテナ <ul style="list-style-type: none"> • ロットをスキャンする必要があります。 • コンテナをスキャンする必要があります。 • [4]:ロットとコンテナ (ロット+コンテナ両方の場合ロットのみ) <ul style="list-style-type: none"> • ロットを毎回スキャンする必要があります。 • ロットフィールドが表示されない場合、コンテナをスキャンする必要があります。 • ロットとコンテナの両方のフィールドが表示される場合、コンテナは自動確認されます。 • [5]:ロットとコンテナ (ロット+コンテナ両方の場合コンテナのみ) <ul style="list-style-type: none"> • コンテナを毎回スキャンする必要があります。 • コンテナフィールドが表示されない場合、ロットをスキャンする必要があります。 • ロットとコンテナの両方のフィールドが表示される場 		

パラメータ名	値	例	デフォルト値
	合、ロットは自動確認されます。		
	注:		
	<ul style="list-style-type: none"> このパラメータは、[品揃表明細] 画面から残高 ID 検索が実行された場合にも適用されます。 [ロット] または [コンテナ] フィールドがスキャンに設定されている場合、スキャンは別の検索を実行するのでこのフィールドを在庫 ID 検索トリガフィールドとして設定しないでください。 		
在庫 ID 検索 - 順序	<ul style="list-style-type: none"> [1]:保管場所 [2]:品目 [3]:ロット [4]:コンテナ (SSCC) 	[3;4]	[3;4;2;1]
在庫 ID 検索 - 在庫ゾーン	任意のゾーン	[P1]	空白 (デフォルトなし)
在庫 ID 参照 - 数量入力フィールドの奨励データ	<ul style="list-style-type: none"> [0]:品揃残数 [1]:手持ち在庫の在庫 ID [2]:在庫 ID 引当可能 (手持在庫 - 引当数量) [3]:在庫 ID 移動可能 (手持在庫 - ピックリスト数量 - 保留格納数量) 	[2]	[1]
	注:このパラメータは、[品揃表明細] 画面から残高 ID 検索が実行された場合にも適用されます。		
在庫 ID 検索 - トリガフィールド	<ul style="list-style-type: none"> [1]:保管場所 [2]:品目 [3]:ロット [4]:コンテナ 	[2;3;4]	空白 (デフォルトはトリガなし)

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	注: 確認された保管場所、ロットまたはコンテナはフィルタとして使用されます。品目はいつもフィルタとして使用されます。		
計量重量入力	[0]:オプション [1]:必須	[1]	[0]
残高 ID 参照オプションを有効化	[0]:いいえ [1]:はい。全ての一覧 [2]:はい。引当ルールベースの一覧 注: <ul style="list-style-type: none"> • [1] または [2] に設定されている場合、[参照] 保管場所、ロットとコンテナに使用できません。[参照] ボタンは在庫照会を実行します。既に確認された入力フィールド ([保管場所]、[ロット]、[コンテナ]) は在庫 ID を一覧表示するときにはフィルタとして使用します。確認されているかどうかに関係なく品目はいつもフィルタとして使用されます。 • [2] に設定すると、一覧には割り当てルールに従って許可されている在庫 ID のみが表示されます。[M3 プログラム MMS124 (Alloc 管理セクションテーブル。オープン)]。 • このパラメータのデフォルトは 0 です ([参照] ボタンは表示されません)。パラメータ偏差在庫 ID の報告オプションを有効化が [0] に設定されて 	[0]	[1]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<p>明細がハードに割り当てられている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> 在庫 ID を選択すると、入力フィールド数量には影響しません。 		
偏差在庫 ID の報告オプションを有効化	<p>[0]:いいえ</p> <p>[1]:はい。割り当てルールに対するチェックはありません。</p> <p>[2]:はい。割り当てルールに対するチェックがあります。許可されなければ警告します。</p> <p>[3]:はい。割り当てルールに対するチェックがあります。許可されなければエラー。</p> <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> [1]、[2] または [3] に設定する場合、保管場所、ロット、コンテナの各フィールドでデータをスキャンできます。 [2] または [3] に設定されている場合、チェックは選択した在庫 ID の [次に] を押す場合に実行されて、割当ルールに従って許可されます。[M3 プログラム MMS124 (Alloc 管理選択テーブル。オープン)]。 ソフト引当済品揃明細の場合、[0] の設定は [1] と同様に動作します。 設定が [0] の場合、在庫 ID を参照するオプションはありません。 MWS010 (ディスパッチポリシー。オープン) の M3 パラメータ 170 	[0]	[1]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	(一部レポート許可) は偏差在庫 ID を許 可するために 3 以上 に設定する必要があります。		
梱包在庫の移動オプションを有効化	[0]:いいえ [1]:はい 注: <ul style="list-style-type: none"> • 梱包在庫を MWS010 (配送ポリシー。オープン) の出庫納入 M3 のパラメータ 550 (割当ベースの梱包有効化) に移動するには、「1」に設定する必要があります。 • [1] に設定されている場合、以下の条件が満たされていれば入力フィールド梱包は在庫の梱包からのデータで自動的に確認されます。 <ul style="list-style-type: none"> • コンテナは在庫の梱包で確認されます。 • コンテナには 1 つの在庫 ID のみが含まれます。 • 数量はコンテナの在庫 ID の全量で確認されます。 	[1]	[0]
梱包ラベルの印刷	<ul style="list-style-type: none"> • [1]:手動印刷 (機能ボタン) • [2]:梱包作成時に印刷するように促します。 • [3]:梱包変更時に印刷するように促します。 注: <ul style="list-style-type: none"> • [3] に設定すると、これらの処理によって 	[1;3]	[1]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<p>梱包ラベルの印刷を 求めるプロンプトが表 示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 新規梱包をスキャ ン/入力します。 • 梱包フィールドを [*自動*]にリセット します。 • 最終明細が報告さ れた後(変更が起 こらないので)。 		
梱包ラベルの印刷プロ ファイル	<p>任意のプロファイル ID これは、梱包ラベルの印 刷トランザクションが手動 または自動で実行される ときに使用する梱包ラベル の印刷トランザクション プロファイルを管理しま す。プロファイルが設定さ れない場合、デフォルトプ ロファイルの梱包ラベル の印刷が使用されます。</p> <p>注:このパラメータはプロ ファイル ID (プロファイル 名ではない) を使用して 設定されます。</p>	[印刷プロファイ ル A]	デフォルトプロファイル:[梱包ラベルの印刷]
梱包番号生成	<p>[1]:手動入力</p> <p>[2]:自動生成[梱包]フィー ルドは [*自動*] で確認さ れて梱包は M3 ロジック に従って自動生成されま す。</p> <p>注:これが [2] に設定さ れている場合、[梱包] フィールドは、[入力フィー ルドデータの自動確認] パラメータ設定に関係な く自動的に確認されま す。</p>	[1]	[2]
入力フィールドデータを記 憶	<p>入力フィールド:</p> <ul style="list-style-type: none"> • [1]:先保管場所 • [2]:梱包 	[1=A;2=D]	空白(記憶なし)

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> [3]: 梱包 <p>値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> [A]: はい - 全ての明細に関して。自動確認 [B]: はい - 同じ納入の明細に関して。自動確認ではない [C]: はい - 全ての明細に関して。自動確認ではない [D]: はい - 同じ納入の明細。自動確認ではない <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> 記憶されたデータは、ピックリストが報告されたときまたはユーザが [ピックリスト] 画面に戻るときにクリアされます。 梱包が記憶されるように設定されている場合、使用された最後の梱包は画面の最初の表示時に M3 から復旧されます。 [先保管場所] が記憶されるように設定されている場合、最後の [先保管場所] 入力データは画面の最初の表示時に M3 から復旧されます。 オプション A と C は入力フィールド梱包には適用されません。これは梱包が1回の納入配送にのみ存在することが許可されているためです。 		
最終行報告後に表示する画面	[0]: 品揃表検索 [1]: 品揃表報告	[1]	[0]
明細報告後に表示する画面	[1]: 品揃明細報告 (次の明細)	[2]	[1]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[2]:品揃表明細 注:[1]に設定して部分的に明細が報告されると、同じ明細が(更新された数量で)再び表示されま す。		
入力フィールドの順序	入力フィールドの順序: • [1]:保管先 • [2]:保管場所 • [3]:品目 • [4]:ロット • [5]:コンテナ • [6]:数量 • [7]:梱包 • [8]:梱包 • [9]:計量重量	[1;2;6;3;4;7;8]	[1;2;3;4;5;6;9;7;8]
品揃え不足処理	[1]:オープン明細を保持 [2]:受注残作成 [3]:完了明細 [4]:オプションのプロンプ ト 注:[4]に設定すると、利 用できるオプションはパ ラメータ品揃え不足オプ ションを使用して設定さ れます。	[4]	[1]
品揃え不足オプション	[1]:オープン明細を保持 [2]:受注残作成 [3]:完了明細	[3;1]	[1;2;3]
梱包入力フィールドの奨 励データ	任意の梱包 [*SYS](MMS053のM3 設定に基づく奨励梱包) [*自動*]([*自動*]として奨 励梱包と数量が確認され る場合 MMS053のM3 設定に基づく奨励梱包) 注: • 「*SYS」に設定されて いる場合:梱包はM3	[*自動*]	未入力

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<p>から検索されて奨励数量に基づいて提案されます。数量が確認または再確認されると、梱包は再び検索されて奨励梱包が更新されます (梱包フィールドがすでに確認されていない限り)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「*自動*」に設定されている場合: 梱包はM3から検索されて確定数量に基づいて提案されます (数量が確認されるまで梱包フィールドに「*自動*」が提案されます)。数量が再確認されると、梱包は再び検索されて奨励梱包が更新されます (梱包フィールドが「*自動*」以外のものですすでに確認されていない限り)。 「*自動*」の設定はパラメタ入力フィールドデータの自動確認と組み合わせることができるので [梱包] フィールドは「*自動*」で自動確認され、数量が確認されたときにフィールドが確認された状況のまま正しい梱包を検索します。梱包が取得できない場合、フィールドは空白に設定されて確認されません。 		
先保管場所入力フィールドの奨励データ	<p>[1]:品揃明細状況 40 [2]:品揃明細状況 50 [3]:品揃明細状況 60</p> <p>値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> [A]:空白 (奨励値なし) [B]:通常保管場所 (MMS002) 	[1=PACK012=D,3=E]	[1=A;2=A;3=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> • [C]:梱包保管場所 (MMS002) • [D]:ドック保管場所 (MMS002) • [E]:ドック保管場所 (クロスドック論理) • 任意の保管場所 注: <ul style="list-style-type: none"> • B は 1 には適用しません。 • C は 2 には適用しません。 • D は 2 には適用しません。 		
入力フィールドの奨励データの確認	入力フィールド: <ul style="list-style-type: none"> • [1]:保管先 • [2]:数量 • [3]:梱包 • [4]:梱包 • [5]:保管場所 • [6]:ロット • [7]:コンテナ フィールドの値は次の通りです: <ul style="list-style-type: none"> • [A]:いいえ - 一致するかどうかチェックしません。 • [B]:はい - 一致しない場合は警告します。 • [C]:はい - 値が大きい場合は警告します。 • [D]:はい - 値が小さい場合は警告します。 • [E]:はい - 一致しなければエラー。 • [F]:はい - 値が大きい場合はエラー。 • [G]:はい - 値が小さい場合はエラー。 • [H]:はい - 値が小さい場合はエラー、値が 	[1=E;2=I]	[1=A;2=C;3=A;4=A;5=A;6=A;7=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<p>大きい場合は警告します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [I]:はい - 値が大きい場合はエラー、値が小さい場合は警告します。 <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> データが指定されない場合、値 [A] がデフォルト値になります。 ソフト引当済品揃明細の場合、設定 5 (保管場所) に関係なく任意の保管場所が可能です。 設定 5、6、7 (保管場所、ロット、コンテナ) は品揃偏差在庫 ID が許可されている場合にのみ適用されます。偏差 ID が許可されていない場合、偏差値が入力されるとエラーが発生します。 参照オプションを使用して偏差在庫 ID が選択された場合、検証は最初の奨励値と比較されます。保管場所、コンテナ、ロットに適用されます。 在庫 ID 検索を使用して偏差在庫 ID を選択すると、警告やエラーメッセージを表示するように設定されている入力フィールドが指示されますが選択されたデータでは確認されません。いかなる警告やエラーも表示されません。保管場所、コンテナ、ロットに適用されます。 		

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> A、B、及び E の値のみが [先保管場所]、[梱包]、[梱包]、[保管場所]、[ロット]、および [コンテナ] フィールドに適用できます。 		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

この画面に影響するパラメータの設定手順については、トランザクションパラメータのピックと梱包を参照してください。品揃明細報告

在庫 ID 一覧画面

この画面で、[品揃明細] 画面または [品揃明細報告] 画面で開始された在庫 ID 検索の在庫 ID を一覧表示します。

在庫 ID 一覧画面パラメタ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
在庫 ID 参照 - 第 1 レコードの自動選択	[0]:いいえ [1]:はい - 毎回 [2]:はい - 一覧に 1 つのレコードしかない場合	[1]	[0]
在庫 ID 検索 - 引当不能在庫 ID の非表示	[0]:いいえ [1]:引当不能在庫 ID の非表示 [2]:移動不能在庫 ID の非表示 注: <ul style="list-style-type: none"> [1] に設定されている場合; ID が引当て不可または引当て可能総数が [0] の場合、在庫 ID は非表示です。 [2] に設定されている場合; ID が引当て不可または移動可能総数が [0] の場合、在庫 ID は非表示です。 	[0]	[1]
在庫 ID 検索 - 表示対象数量	[0]:手持在庫合計	[1]	[0]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[1]:引当可能 (手持在庫 - 引当済数量) [2]:移動可能 (手持在庫 - ピックリスト数量 - 保留 格納数量)		
在庫 ID 検索 - 第 1 レ コードの自動選択	[0]:いいえ [1]:はい - 毎回 [2]:はい - 一覧に 1 つの レコードしかない場合	[2]	[0]
在庫 ID 参照 - 引当不能 在庫 ID の非表示	[0]:いいえ [1]:引当不能在庫 ID の 非表示 [2]:移動不能在庫 ID の 非表示 注: <ul style="list-style-type: none"> このパラメータが [1] に設定されている場合; ID が引当て不可または引当て可能総数が [0] の場合、在庫 ID は非表示です。 [2] に設定されている場合; ID が引当て不可または移動可能総数が [0] の場合、在庫 ID は非表示です。 	[0]	[1]
在庫 ID 参照 - 表示する 数量	[0]:手持在庫合計 [1]:引当可能 (手持在庫 - 引当済数量) [2]:移動可能 (手持在庫 - ピックリスト数量 - 保留 格納数量)	[1]	[0]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

品揃表報告画面

この画面では、1 つまたは複数の品揃表を出庫済、梱包に移動、またはドックに移動として報告します。

品揃表報告画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
報告処理	[1]:梱包保管場所に移動	[2]	[1]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[2]:ドック保管場所へ移動 [3]:出庫確認		
入力フィールドデータの自動確認	[1]:保管先 [A]:いいえ - スキャン/データ入力による確認が必要 [B]:はい - 毎回フィールド自動確認。 [C]:はい - 奨励データが空白でない場合、フィールド自動確認。 [D]:はい - 奨励データが空白の場合、フィールド自動確認。 注: 奨励値のない必須フィールドでは、このパラメタの設定は無視されて、ユーザによる値のスキャンが必要となります。	[1=B]	[1=A]
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
先保管場所入力フィールドの奨励データ	任意の保管場所	[PACK01]	空白 (デフォルトなし)
入力フィールドの奨励データの確認	[1]:先保管場所フィールドの値は次の通りです。 [A]:いいえ。スキャンした値が奨励値と検証されていません。 [B]:はい。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。 [C]:はい。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。 [D]:はい。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。	[1=B]	[1=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。		
	[F]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。		
	[G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくはいけません。		
	[H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくはいけません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。		
	[I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。		
	注: 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

この画面に影響するパラメータの設定手順については、トランザクションパラメータのピックと梱包を参照してください。品揃表報告

配送関連文書の印刷トランザクション

梱包ラベルの印刷トランザクションを使用して納入に関連する文書全て印刷できます。このトランザクションのカスタマイズの詳細については、配送関連文書の印刷トランザクションパラメータの設定を参照してください。

「配送関連文書の印刷トランザクションの使用」を参照してください。

配送関連文書の印刷パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]: いいえ [1]: はい	[1]	[0]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
プリンタ入力フィールドの 奨励データ	任意の文字	[PRINTER01]	未入力
入力フィールドの奨励 データの確認	<p>[1]: プリンタ</p> <p>[A]: いいえ。ユーザはどの値もスキャンできて、値(スキャン値と奨励値)が一致する場合、この値の奨励値との比較検証は行われません。</p> <p>[B]: はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。</p> <p>[C]: はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。</p> <p>[D]: はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。</p> <p>[E]: はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。</p> <p>[F]: はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。</p> <p>[G]: はい。スキャンされた値は奨励値より低くなるとはいけません。</p> <p>[H]: はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。</p> <p>[I]: はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、アプリケーション</p>	[1=B]	[1=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	ンに警告メッセージが表示されます。		
	注:		
	<ul style="list-style-type: none"> データが指定されない場合、値 A がデフォルトになります。 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。 		
入力フィールドデータの自動確認	<p>[1]: プリンタ</p> <p>[A]: いいえ。ユーザはスキャンするか、手動でデータを入力して値を確認する必要があります。</p> <p>[B]: はい。値は自動的に確認されます。</p> <p>[C]: はい。奨励データが空白でない場合、値は自動的に確認されます。</p> <p>[D]: はい。奨励データが空白の場合、値は自動的に確認されます。</p> <p>注: 空白の奨励データがある必須フィールドは自動確認できません。これはこの設定に関係なく入力を必要とします。</p>	[1=C]	[1=A]

注: パラメタ値を指定しない場合や、無効な値を指定した場合は、デフォルト値が使用されます。

梱包ラベルの印刷トランザクション

梱包ラベルの印刷トランザクションを使用して梱包の移送ラベルを印刷できます。このトランザクションのカスタマイズの詳細については、梱包ラベル印刷トランザクションの設定パラメータ

「梱包ラベル印刷トランザクションの使用」を参照してください。

梱包ラベルの印刷トランザクションパラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドの順序	[1]: 梱包	[1]	[1;2]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[2]:プリンタ		
プリンタ入力フィールドの 奨励データ	任意の文字	[PRINTER01]	未入力
入力フィールドの奨励 データの確認	<p>入力フィールド:</p> <ul style="list-style-type: none"> [1]:プリンタ <p>ユーザは、フィールドの 値を次に設定できます。</p> <p>[A]:いいえ。スキャンした 値が奨励値と検証されて いません。</p> <p>[B]:はい。スキャンした値 が奨励値と一致しない場 合、警告メッセージが表 示されます。</p> <p>[C]:はい。スキャンした値 が奨励値より大きい場 合、警告メッセージが表 示されます。</p> <p>[D]:はい。スキャンした値 が奨励値より小さい場 合、警告メッセージが表 示されます。</p> <p>[E]:はい。スキャンされた 値が奨励値と一致する必 要があります。</p> <p>[F]:はい。スキャンした値 は奨励値より大きくなる ことはできません。</p> <p>[G]:はい。スキャンした値 は奨励値より小さくては いけません。</p> <p>[H]:はい。スキャンした値 は奨励値より小さくては いけません。スキャンした 値が奨励値より大きい場 合、警告メッセージが表 示されます。</p> <p>[I]:はい。スキャンした値 は奨励値より大きくなる ことはできません。スキャ ンした値が奨励値より小 さい場合、警告メッセージ が表示されます。</p> <p>注:</p>	[1=C]	[1=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> データが指定されない場合、値 [A] がデフォルトになります。 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。 		
入力フィールドデータの自動確認	<p>[1]:プリンタユーザは入力フィールドに次の値を指定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> [A]:いいえ。ユーザはスキャンするか、手動でデータを入力して値を確認する必要があります。 [B]:はい。値は自動的に確認されます。 [C]:はい。奨励データが空白でない場合、値は自動的に確認されます。 [D]:はい。奨励データが空白の場合、値は自動的に確認されます。 <p>注: 奨励値のない必須フィールドでは、このパラメタの設定は無視されて、ユーザによる値のスキャンが必要となります。</p>	[1=C]	[1=A]
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	<p>[0]:いいえ [1]:はい</p>	[1]	[0]

格納トランザクション

格納トランザクションを使用して購買オーダを格納します。このトランザクションのカスタマイズの詳細については、格納トランザクションパラメタの設定

おのトランザクションは 3 つの画面で構成されます。

- 55 ページの在庫 ID 検索
- 55 ページの在庫 ID 一覧

- 56 ページのレポート

格納トランザクションを開くには、メインメニューから、格納トランザクションと関連付けられているトランザクションプロファイルを選択します。

注: 品目番号のスキャン時に、品目番号ではなく別名番号をスキャンするオプションがあります。

在庫 ID 検索画面

この画面で、数量が残っている受入番号で在庫 ID を検索します。

「在庫 ID 検索画面の使用」を参照してください。

在庫 ID 検索画面パラメタ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
検索フィールド検索順序	[1]:保管場所 [2]:品目 [3]:ロット [4]:コンテナ [5]:受入番号	[2;3;4]	[1;2;3;4;5]
フィルタフィールドの順序	[1]:検索 [2]:保管場所 [3]:品目 [4]:ロット [5]:コンテナ [6]:受入番号	[1;3;6]	[1;2;3;4;5;6]

注: パラメタ値を指定しない場合や、無効な値を指定した場合は、デフォルト値が使用されます。

この画面に影響するパラメタの設定手順については、格納トランザクションパラメタ:在庫 ID 検索。

在庫 ID 一覧画面

この画面で、格納する受入番号を選択します。この画面には、在庫 ID 検索画面で実行した検索の結果である在庫 ID が表示されます。

「在庫 ID 一覧画面の使用」を参照してください。

在庫 ID 一覧画面パラメタ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
第1レコードの自動選択	[0]:いいえ [1]:毎回、はい	[1]	[0]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[2]:リストのレコードは 1 つだけです。		

注: パラメタ値を指定しない場合や、無効な値を指定した場合は、デフォルト値が使用されます。
この画面に影響するパラメタの設定手順については、格納トランザクションパラメタ:在庫 ID 一覧。

格納報告画面

この画面で、選択した受入番号に格納する数を報告します。

「報告画面の使用」を参照してください。

格納報告画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドデータの自動確認	[1]:数量 [2]:保管先 [A]:ユーザは値をスキャンして確認する必要があります。 [B]:値は自動的に確認されます。 [C]:奨励値が空白でない場合、値は自動的に確認されます。 [D]:奨励数が空白である場合、値は自動的に確認されます。 注: 奨励値のない必須フィールドでは、このパラメタの設定は無視されて、フィールドの自動確認は行われません。	[1=C;2=B]	[1=A;2=A]
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
入力フィールドの順序	入力フィールド: <ul style="list-style-type: none"> • [1]:数量 • [2]:保管先 • [6]:計量重量 情報フィールドは次のものです:	[1;4;2;3]	[3;4;5;1;6;2]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> • [3]:品目 • [4]:ロット • [5]:コンテナ 		
先保管場所入力フィールドの奨励データ	任意の保管場所 [*SYS]:システム奨励値	[格納]	[空白]
入力フィールドの奨励データの確認	<p>[1]:数量</p> <p>[2]:先保管場所</p> <p>ユーザは、フィールドの値を次に設定できます。</p> <p>[A]:いいえ。スキャンした値が奨励値と検証されていません。</p> <p>[B]:はい。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。</p> <p>[C]:はい。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。</p> <p>[D]:はい。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。</p> <p>[E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。</p> <p>[F]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。</p> <p>[G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくはいけません。</p> <p>[H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくはいけません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。</p> <p>[I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小</p>	[1=F;2=B]	[1=A;2=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	さい場合、警告メッセージが表示されます。		
	注: 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。		

注: パラメタ値を指定しない場合や、無効な値を指定した場合は、デフォルト値が使用されます。
この画面に影響するパラメタの設定手順については、格納トランザクションパラメタ:検査報告。

受入トランザクション

受入トランザクションを使用して、品目を受け入れることができます。オーダー明細または梱包によって品目を受け入れることができます。このトランザクションは、購買オーダー、販売オーダー、製造オーダー、製品別、顧客返品に使用することができます。受領明細画面を M3 の直接格納ロジックを使用するように設定して、受け入れる品目の宛先を提示することができます。

梱包の受入は購買オーダーと販売オーダーでサポートされています。購買オーダーの場合、梱包受入が次の3つのトランザクションに対して自動的にトリガされます:

- 1 梱包のステージング
- 2 梱包が接続されている ASN の受入
- 3 梱包の格納

製造オーダーまたは製品別の返品報告もできます。

このトランザクションの設定についての詳細は、受入トランザクションパラメタの設定を参照してください。

おのトランザクションは3つの画面で構成されます。

- 58 ページの検索
- 60 ページの明細
- 61 ページの受入明細
- 67 ページの受入梱包

受入トランザクションを開くには、メインメニューから、受入トランザクションと関連付けられているトランザクションプロファイルを選択します。

注: 品目番号のスキャンするときはいつでも、代わりにスキャンするオプションがあります。

検索画面

この画面で、受け入れるオーダー明細を検索するか、指定の梱包をスキャンします。

「検索画面の使用」を参照してください。

検索画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
開始日付入力フィールドのデフォルトデータ	数値 (単一) N(=遡る日数)に設定すると、出発日付 <= 今日 - N 日数でオーダー明細を一覧表示します。	[14]	[300]
オーダー区分入力フィールドのデフォルトデータ	[BY]:製品別製造オーダー [CR]:顧客返品 [DO]:配送オーダー [MO]:製造オーダー [PO]:購買オーダー [ALL]:全オーダータイプ	[PO;DO]	[全て]
状況 (BY) 入力フィールドのデフォルトデータ	数値 (範囲)	[00-90]	[00-99]
状況 (MO) 入力フィールドのデフォルトデータ	数値 (範囲)	[00-79]	[00-99]
状況 (PO) 入力フィールドのデフォルトデータ	数値 (範囲)	[40-75]	[15-49]
入力フィールド日付を終了日付にデフォルト設定	数値 (単一) 注: N (= 先へ進む日数)に設定すると、出発日付 <= 今日 - N 日数でオーダー明細を一覧表示します。	[14]	[300]
ワークセンタ入力フィールドのデフォルトデータ	任意のワークセンタ	[DRILL01]	未入力
検索フィールド検索順序	[1]:仕入れ先 (PO/DO) [2]:納入 (PO/DO) [3]:オーダー (全て) [4]:品目 (全て) [5]:ロット (DO/MO/BY/CR) [6]:コンテナ (DO) [7]:梱包 (PO/DO) [8]:レポート番号 (MO/BY)	[2;3;4]	[1;2;3;4;5;6;7;8;9;10;11]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[9]:ワークセンタ (MO/BY) [10]:顧客 (CR) [11]:受入番号 (CR)		
フィルタフィールドの順序	[1]:検索 (全て) [2]:オーダ区分 (全て) [3]:発注先 (PO/DO) [4]:納入 (PO/DO) [5]:オーダ (全て) [6]:品目 (全て) [7]:ロット (DO/MO/BY/CR) [8]:コンテナ (DO) [9]:梱包 (PO/DO) [10]:レポート番号 (MO/BY) [11]:ワークセンタ (MO/BY) [12]:顧客 (CR) [13]:受入番号 (CR)	[2;1;6]	[1;2;3;4;5;6;7;8;9;10;11;12;13]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

この画面に影響するパラメータの設定手順については、受入トランザクションパラメタ:検索を参照してください。

明細画面

この画面で、受入れるオーダ明細を選択します。この画面には、検索画面で実行した検索の結果であるオーダ明細が表示されます。

「明細画面の使用」を参照してください。

明細画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
第1レコードの自動選択	[0]:いいえ [1]:毎回、はい [2]:リストのレコードは1つだけです。	[1]	[0]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

この画面に影響するパラメータの設定手順については、受入トランザクションパラメタ:明細を参照してください。

受領明細/返品明細画面

このセッションには、オーダー明細の受入を報告します。

「受領明細画面の使用」を参照してください。

受領明細/返品明細画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
報告処置 (MO+BY)	[1]:受入 (負の数量を入力することによって返品をトリガすることができます) [2]:返品 (入力数量に関係なく返品がトリガされま す - 正または負):	[2]	[1]
API 警告を表示しません (BY)	[1,2,3,6]	[1;4;6] 「1;4;6」は DSP1、4 及び 6 に「1」を送信し ます。	未入力
API 警告を表示しません (MO)	[1,2,3,4,5,6,7,8]	[1;4;6] 「1;4;6」は DSP1、4 及び 6 に「1」を送信し ます。	未入力
含める属性順序番号	数値 (複数または範囲)	[10-30;50;90]	未入力
属性検証	[0]:検証無し任意の値を使用できます。 [1]:検証任意の値を使用できます。有効でない値が入力された場合は警告が表示されます。 [2]: 検証。有効な値のみが許可されます。 注: 英数字属性 (区分 1) の場合、M3 の設定 空白許可 は、空白が有効な値であるかどうかを制御します。他の属性タイプの場合、空白は有効値ではありません。	[2]	[0]
入力フィールドデータの自動確認	入力フィールド: • [1]:品目 • [2]:ロット	[1=B;5=C]	[1=A;2=A;3=A;4=A;5=A;6=A;7=A;8=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> • [3]:コンテナ • [4]:数量 • [5]:保管先 • [6]:有効期限/生産日付 (PO/MO/BY) • [7]:梱包 • [8]:属性 (PO/MO/BY) <p>[A]:ユーザは値をスキャンして確認する必要があります。</p> <p>[B]:値は自動的に確認されます。</p> <p>[C]:奨励値が空白でない場合、値は自動的に確認されます。</p> <p>[D]:奨励数が空白である場合、値は自動的に確認されます。</p> <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 奨励値のない必須フィールドでは、このパラメタの設定は無視されて、ユーザによる値のスキャンが必要となります。 • 8 (属性) の設定はすべての属性に適用されます。 		
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
失効日/製造日付形式	[1]: YYYYMMDD [2]: YYYYDDMM [3]: MMYYYYDD [4]: MMDDYYYY [5]: DDYYYYMM [6]: DDMMYYYY [7]: YYMMDD [8]: YYDDMM [9]: MMYYYDD [10]: MMDDYY [11]: DDYYMM [12]: DDMMYY	[1]	[7]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[13]:YYYYMM [14]:MMYYYY [15]:YYMM [16]:MMYY 注: [13-16] の場合、DD はその月の最後の日に 設定されます。		
受入毎に新規ロット生成 (MO)	[0]:いいえ [1]:はい 注: [1]:MO 先頭 (存在す る場合) からロットを使用 せずに、自動ロットナンバ リング付きの品目の新規 ロット番号を常に取得し ます。	[1]	[0]
必須入力フィールド	必須入力フィールド: • [1]:コンテナ (コンテナ メソッド 7) • [2]:属性 次の入力フィールドは表 示される場合常に必須で す。 • 品目 • ロット • コンテナ (コンテナ メ ソッド 1 - 6) • 数量 • 先保管場所 • 梱包 • 有効期限/生産日付 • 計量重量	[1;2]	未入力
入力フィールドの順序	入力フィールドの順序: • [1]:品目 • [2]:ロット • [3]:コンテナ • [4]:数量 • [5]:保管先 • [6]:有効期限/生産日 付 (PO/MO/BY)	[5;2;3;1;4]	[1;2;3;7;4;8;5;6]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> • [7]: 梱包 • [8]: 計量重量 • [9]: 属性 (PO/MO/BY) 注: 属性メソッド 3 では、エラーのある属性のみが表示されます。		
コンテナ入力フィールドの 奨励データ	任意のコンテナ [*自動*] 注: [*自動*] はコンテナメソッド 7 にのみ適用します。コンテナメソッド 1 - 6 に関して、このパラメータが [*自動*] に設定されている場合、奨励値は空白です。	[*自動*]	未入力
失効日入力フィールドの 奨励データ	[0]: 未入力 [1]: 現行日付 + 保存期間	[0]	[1]
梱包入力フィールドの奨 励データ	任意の梱包 [*SYS] (MMS053 の M3 設定に基づく奨励梱包) [*自動*] ([*自動*] として の奨励梱包と、数量が確 認される場合 MMS053 の M3 設定に基づく奨励 梱包) 注: <ul style="list-style-type: none"> • [*SYS] に設定されている場合: 梱包は M3 から検索されて奨励数量に基づいて提案されます。数量が確認または再確認されると、梱包は再び検索されて奨励梱包が更新されます (梱包フィールドがすでに確認されていない場合)。 • [*自動*] に設定されている場合: 梱包は M3 から検索されて確定数量に基づいて提案されます (数量が確認されるまで梱包フィー 	[*自動*]	未入力

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<p>ルドに [*自動*] が提案されます)。数量が再確認された場合、梱包は再び検索されて奨励梱包が更新されます (梱包のフィールドが既に [*自動*] 以外で確認されている場合を除く)。M3 から梱包が取得されない場合、フィールドは空白に設定されて確認されません。</p>		
製造日付入力フィールドの奨励データ	[0]:未入力 [1]:現行日付	[0]	[1]
SSCC 入力フィールドの奨励データ	[1]:空白 (自動生成) [2]:梱包と同じ	[2]	[1]
状況残高 ID (MO+BY) 入力フィールドの奨励データ	[1、2 または 3]	[1]	[2]
先保管場所入力フィールドの奨励データ	任意の保管場所 [*SYS] (システム指向)	[受入]	未入力
入力フィールドの奨励データの確認	<p>入力フィールド:</p> <ul style="list-style-type: none"> • [1]:数量 • [2]:保管先 • [3]:ロット (MO/BY/CR) • [4]:有効期限/生産日付 (PO/MO/BY) • [5]:コンテナ • [6]:梱包 • [7]:属性 (PO/MO/BY) <p>ユーザは、フィールドの値を次に設定できます。</p> <p>[A]:いいえ。スキャンした値が奨励値と検証されていません。</p> <p>[B]:はい。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。</p>	[1=F;2=B]	[1=A;2=A;3=A;4=A;5=A;6=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[C]:はい。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。		
	[D]:はい。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。		
	[E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。		
	[F]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。		
	[G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくはいけません。		
	[H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくはいけません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。		
	[I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。		
	注:		
	<ul style="list-style-type: none"> 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。 データが指定されない場合、値 A がデフォルトになります。 7 (属性) の設定はすべての属性に適用されます。英数字属性の場合、B や F/G/H/I のような C/D 機能は E のように動作しません。 		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

この画面に影響するパラメータの設定手順については、受入トランザクションパラメタ:受領明細を参照してください。

受入梱包画面

この画面で、梱包の入庫を報告します。

購買オーダーの場合、梱包受入が次の3つのトランザクションに対して自動的にトリガされます:

- 梱包のステージング
- 梱包が接続されているASNの受入
- 梱包の格納

「梱包受入画面の使用」を参照してください。

受入梱包画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドデータの自動確認	入力フィールド: • [1]:保管先 [A]:ユーザは値をスキャンして確認する必要があります。 [B]:値は自動的に確認されます。 [C]:奨励値が空白でない場合、値は自動的に確認されます。 [D]:奨励数が空白である場合、値は自動的に確認されます。 注: 奨励値のない必須フィールドでは、このパラメータの設定は無視されて、ユーザによる値のスキャンが必要となります。	[1=B]	[1=A]
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
先保管場所入力フィールドの奨励データ	任意の保管場所	[受入]	未入力
入力フィールドの奨励データの確認	入力フィールド: • [1]:保管先	[1=B]	[1=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[A]:ユーザは任意の値をスキャンすることができ、この値は奨励値に対して検証されません。		
	[B]:ユーザは任意の値をスキャンすることができますが、推奨値と不一致の場合に警告が表示されません。		
	[C]:ユーザは任意の値をスキャンすることができますが、その値が推奨値より大きい場合に警告が表示されます。		
	[D]:ユーザは任意の値をスキャンすることができますが、その値が推奨値より小さい場合に警告が表示されます。		
	[E]:スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。		
	[F]:スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。		
	[G]:スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。		
	[H]:スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合ユーザに警告が表示されます。		
	[I]:スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合ユーザに警告が表示されます。		
	注:		
	• データが指定されない場合、値 A がデフォルトになります。		

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> A、B、および E の値のみが [先保管場所] フィールドに適用できます。 		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

この画面に影響するパラメータの設定手順については、受入トランザクションパラメタ: 受入梱包を参照してください。

在庫照会トランザクション

在庫照会トランザクションを使用して次のことができます。

- 在庫 ID リストの表示
- 在庫 ID 詳細の表示
- 格納ラベル印刷
- 品目ラベルの印刷在庫ラベルに梱包を印刷
- 再分類状況、ロット、品目及び引当て可能状況

このトランザクションの設定についての詳細は、「在庫照会トランザクションパラメータの設定」を参照してください。

このトランザクションは 8 つの画面で構成されます。

- 69 ページの在庫 ID 検索画面
- 70 ページの在庫 ID 一覧画面
- 71 ページの在庫 ID 詳細画面
- 72 ページの在庫 ID オプション画面
- 72 ページの格納ラベル画面印刷
- 74 ページの品目ラベル画面印刷
- 76 ページの在庫ラベル梱包画面の印刷
- 78 ページの再分類画面

在庫 ID オプションには 5 の利用できるオプションがあります。

在庫照会トランザクションを開くには、メインメニューから、トランザクションと関連付けられているトランザクションプロファイルを選択します。

在庫 ID 検索画面

この画面で、在庫 ID を検索します。

在庫 ID 検索画面パラメタ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
検索フィールド検索順序	[1]:保管場所 [2]:品目 [3]:ロット [4]:コンテナ [5]:受入番号	[2;3;4]	[1;2;3;4;5]
フィルタフィールドの順序	[1]:検索 [2]:保管場所 [3]:品目 [4]:ロット [5]:コンテナ [6]:受入番号	[1;3;4]	[1;2;3;4;5;6]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

在庫 ID 一覧画面

この画面では、[在庫 ID 検索] 画面で実行した検索に基づく在庫 ID を一覧表示します。

在庫 ID 一覧画面パラメタ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
選択を押したときの処理	[0]:一覧取得 [1]:品目ラベル印刷 [2]:格納ラベルの印刷 [3]:在庫ラベルに梱包の印刷 [4]:在庫ID詳細 [5]:再分類	[1]	[0]
第1レコードの自動選択	[0]:いいえ [1]:はい - 毎回 [2]:はい - 1つのレコードのみ一覧表示される場合	[1]	[0]
引当不能在庫IDの非表示	[0]:いいえ [1]:はい 注: このパラメータが1に設定されている場合; IDが引当て不可または	[0]	[1]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	引当て可能総数が 0 の場合、在庫 ID は非表示です。		
表示対象数量	[0]:手持在庫合計 [1]:引当可能 (手持在庫 - 引当済数量) [2]:移動可能 (手持在庫 - ピックリスト数量 - 保留格納数量)	[1]	[0]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

在庫 ID 詳細画面

この画面を使用では、[在庫 ID 一覧] 画面で選択した在庫 ID の詳細情報を表示します。

在庫 ID 詳細画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドの順序	[1]:品目番号 [2]:保管場所 [3]:ロット [4]:コンテナ [5]:手持在庫数量 [6]:引当て済数量 [7]:引当て可能数量 [8]:移動可能数量 [9]:受入番号 [10]:在庫ゾーン [11]:状況 - 在庫 ID [12]:引当て可能 [13]:ABC クラス - 頻度 [14]:進行中実棚卸 [15]:実棚卸番号 [16]:最新実棚卸日 [17]:前回受入日 [18]:前回出庫日 [19]:優先度日付 [20]:ロット参照 1 [21]:ロット参照 2 [22]:リマーク	[1;2;3;4;7]	[2;3;4;5;6;7;8;9;10;11;12;13;14;15;16;17;18;19;20;21;22]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[23]:計量重量		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

在庫 ID オプション画面

この画面では、[在庫 ID 詳細] 画面で選択した在庫 ID に使用できるオプションを一覧表示します。

在庫 ID オプション画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
オプションの順序	[1]:品目ラベル印刷 [2]:格納ラベルの印刷 [3]:在庫ラベルに梱包の印刷 [4]:在庫 ID 詳細 [5]:再分類	[1;4;5]	[1;2;3;4;5]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

格納ラベル画面印刷

この画面では、選択した在庫 ID の格納ラベルを印刷します。

格納ラベル画面パラメータ印刷

パラメタ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドデータの自動確認	[1]:数量 [2]:プリンタ [A]:いいえ - データをスキャンまたは入力による確認が必要 [B]:はい - 値は自動的に確認されます。 [C]:はい - 奨励データが空白でない場合、値は自動的に確認されます。 [D]:はい - 奨励データが空白の場合、値は自動的に確認されます。 注: 奨励値のない必須フィールドでは、このパラメータの設定は無視され	[1=B;2=B]	[1=A;2=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	て、ユーザによる値のスキヤンが必要となります。		
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
プリンタ入力フィールドの奨励データ	任意の文字 注: プリンタが設定されていない場合、ユーザ設定で指定されたプリンタが指定されます。	[PRINTER01]	未入力
入力フィールドの奨励データの確認	[1]:数量 [2]:プリンタ <ul style="list-style-type: none"> • [A]:いいえ。ユーザはどの値もスキヤンでき、値 (スキヤンされた奨励値) が一致する場合、この値の奨励値との比較検証は行われません。 • [B]:はい。ユーザはどの値もスキヤンできます。スキヤンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。 • [C]:はい。ユーザはどの値もスキヤンできます。スキヤンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。 • [D]:はい。ユーザはどの値もスキヤンできます。スキヤンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。 • [E]:はい。スキヤンされた値が奨励値と一致する必要があります。 • [F]:はい。スキヤンした値は奨励値より大きくなることはできません。 	[1=A;2=B]	[1=C;2=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> • [G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。 • [H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 • [I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 <p>注: 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。</p>		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

品目ラベル画面印刷

この画面では、選択した在庫 ID の品目ラベルを印刷します。

品目ラベル画面パラメータ印刷

パラメタ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドデータの自動確認	<p>[1]:プリンタ</p> <p>[A]:いいえ - データをスキャンまたは入力による確認が必要</p> <p>[B]:はい - 値は自動的に確認されます。</p> <p>[C]:はい - 奨励データが空白でない場合、値は自動的に確認されます。</p> <p>[D]:はい - 奨励データが空白の場合、値は自動的に確認されます。</p>	[1=C]	[1=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	注: 奨励値のない必須フィールドでは、このパラメタの設定は無視されて、ユーザによる値のスキヤンが必要となります。		
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
プリンタ入力フィールドの奨励データ	任意の文字 注: プリンタが設定されていない場合、ユーザ設定で指定されたプリンタが指定されます。	[PRINTER01]	未入力
入力フィールド奨励データの確認	[1]:プリンタ <ul style="list-style-type: none"> [A]:いいえ。ユーザはどの値もスキヤンでき、値 (スキヤンされた奨励値) が一致する場合、この値の奨励値との比較検証は行われません。 [B]:はい。ユーザはどの値もスキヤンできます。スキヤンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。 [C]:はい。ユーザはどの値もスキヤンできます。スキヤンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。 [D]:はい。ユーザはどの値もスキヤンできます。スキヤンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。 [E]:はい。スキヤンされた値が奨励値と一致する必要があります。 [F]:はい。スキヤンした値は奨励値より大 	[1=B]	[1=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<p>きくなることはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。 • [H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 • [I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> • データが指定されない場合、値 [A] がデフォルト値になります。 • 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。 		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

在庫ラベル梱包画面の印刷

この画面では、選択した在庫 ID の梱包在庫ラベルを印刷します。

梱包在庫ラベル画面パラメータの印刷

パラメタ名	値	例	デフォルト値
入カフィールドデータの自動確認	[1]:プリンタ [A]:いいえ - データをスキャンまたは入力による確認が必要	[1=C]	[1=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<p>[B]:はい - 値は自動的に確認されます。</p> <p>[C]:はい - 奨励データが空白でない場合、値は自動的に確認されます。</p> <p>[D]:はい - 奨励データが空白の場合、値は自動的に確認されます。</p> <p>注: 奨励値のない必須フィールドでは、このパラメタの設定は無視されて、ユーザによる値のスキャンが必要となります。</p>		
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	<p>[0]:いいえ</p> <p>[1]:はい</p>	[1]	[0]
プリンタ入力フィールドの奨励データ	<p>任意の文字</p> <p>注: プリンタが設定されていない場合、ユーザ設定で指定されたプリンタが指定されます。</p>	[PRINTER01]	空白 (デフォルトなし)
入力フィールドの奨励データの確認	<p>[1]:プリンタ</p> <ul style="list-style-type: none"> [A]:いいえ。ユーザはどの値もスキャンでき、値 (スキャンされた奨励値) が一致する場合、この値の奨励値との比較検証は行われません。 [B]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。 [C]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。 [D]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値より小さい場 	[1=B]	[1=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	合、警告メッセージが表示されます。		
	<ul style="list-style-type: none"> • [E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。 • [F]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。 • [G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。 • [H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 • [I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 		
	注:		
	<ul style="list-style-type: none"> • データが指定されない場合、値 [A] がデフォルトになります。 • 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。 		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

再分類画面

この画面では、選択した在庫 ID を新しい状況、ロット、品目または引当状況に再分類 (リセット) します。

再分類画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
引当て可能入力フィールドのデフォルトデータ	[0]:引当て不可 [1]:引当て可能	[0]	未入力
状況入力フィールドのデフォルトデータ	[1]:検査中(承認済) 現行値 [2]:承認済 [3]:(不合格) ユーザはスキャンするか、手動でデータを入力して値を確認する必要があります。スキャンしたデータと奨励データが異なる場合、状況は不合格に設定されま す。	[1]	未入力
入力フィールドの順序	情報フィールド [1]:保管場所 [2]:品目 [3]:ロット [4]:コンテナ [5]:数量 [6]:引当て済数量 入力フィールド: [7]:引当て可能 [8]:状況 [9]:新規品目 [10]:新規ロット [11]:新数量	[1;2;3;4;5;6;7;8]	[1;2;3;4;5;6;7;8;9;10;11]
新規品目入力フィールドの奨励データ	[0]:未入力 [1]:現在の品目と同じ (ロット管理品目のみに適用)	[1]	[0]
新規ロット入力フィールドの奨励データ	任意のロット *CUR:現行ロット番号と同じ	[LOT123]	未入力
新規ロット数量入力フィールドの奨励データ	任意の数量 [A]:手持在庫合計	[A]	[B]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[B]:引当可能 (手持在庫 - 引当済数量)		
入カフィールド奨励データの確認	[1]:新規品目 [2]:新数量 [3]:新規ロット <ul style="list-style-type: none"> • [A]:いいえ。ユーザはどの値もスキャンでき、値 (スキャンされた奨励値) が一致する場合、この値の奨励値との比較検証は行われません。 • [B]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。 • [C]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。 • [D]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。 • [E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。 • [F]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。 • [G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。 • [H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできま 	[1=B;2=C;3=E]	1=A;2=A;3=A

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	せん。スキャンした値が奨励値より大きい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。		
	<ul style="list-style-type: none"> [I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 		
	注: 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。		

注: パラメタの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

包含梱包トランザクション

包含梱包トランザクションを使用して、新規梱包または既存梱包に梱包を含めるまたは梱包にすでに含まれている梱包を切り離すことができます。

このトランザクションの設定についての詳細は、「包含梱包トランザクションパラメタの設定」を参照してください。

このトランザクションは、[梱包の結合] 画面と [梱包の結合解除] 画面から構成されています。

梱包トランザクションの梱包を開くには、メインメニューから、このトランザクションと関連付けられているトランザクションプロファイルを選択します。

梱包の結合/結合解除画面

この画面で、梱包を別の梱包に含めるか、以前に含まれていた既存の梱包を結合解除します。

梱包の結合/結合解除画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
報告処理	[1]:包含梱包 [2]:梱包の結合解除	[2]	[1]
入力フィールドデータの自動確認	[1]:終了梱包 [2]:梱包	[1=B;2=C]	[1=A;2=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<p>ユーザは入力フィールドに次の値を指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> [A]:いいえ。ユーザはスキャンするか、手動でデータを入力して値を確認する必要があります。 [B]:はい。値は自動的に確認されます。 [C]:はい。奨励データが空白でない場合、値は自動的に確認されます。 [D]:はい。奨励データが空白の場合、値は自動的に確認されます。 <p>注: 奨励値のない必須フィールドでは、このパラメータの設定は無視されて、ユーザによる値のスキャンが必要となります。</p>		
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]: はい	[1]	[0]
梱包ラベルの印刷 (終了梱包)	<p>[0]:印刷なし</p> <p>[1]:手動印刷 (機能ボタン)</p> <p>[2]:新しい [終了梱包] が作成されると、ラベルを印刷するように促されます (手動印刷も可能)。</p> <p>注: オプション 1 と 2 の場合、特定「梱包ラベルの印刷」トランザクションプロファイルは、N; プロファイル ID フォーマットで [N=1] または [2] を使用して設定することができます。プロファイルが設定されない場合、デフォルトプロファイル 梱包ラベルの印刷 が使用されます。このパラメータはプロファイル ID (プロファイル名ではない) を使用して設定されます。</p>	[2];印刷プロファイル A]	[0]
入力フィールドデータを記憶	<p>入力フィールド:</p> <p>[1]:終了梱包</p> <p>[2]:梱包</p> <p>このフィールドの値は次のように設定できます。</p>	[1=A;2=A]	未入力

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[A]:はい。フィールドの値は自動的に確認されます。 [C]:はい。フィールドの値は自動的に確認されません。 注: 入力フィールドのデータは終了機能まで記憶されます。		
入力フィールドの順序	入力フィールド: <ul style="list-style-type: none"> [1]:梱包 [2]:終了梱包 [3]:梱包 (終了梱包の場合) 入力フィールドに次のものがあります: <ul style="list-style-type: none"> [4]:保管場所 [5]:出発日/時間 [6]:納入方法 [7]:ルート/出発 [8]:納入/出荷 [9]:顧客 [10]:顧客名 [11]:積荷ドア [12]:配送梱包状況 [13]:包含梱包 注: [終了梱包] と [梱包] は [結合解除] 処理に該当しません。	[1;4;5;6;2]	[1;2;3;4;5;6;7;8;9;10;11;12;13]
梱包入力フィールドの奨励データ	任意の梱包 *自動*	[ボックス]	未入力
先梱包入力フィールドの奨励データ	任意の梱包 *自動*	[*自動*]	未入力
入力フィールド奨励データの確認	入力フィールド: <ul style="list-style-type: none"> [1]:終了梱包 [2]:梱包 ユーザは、フィールドの値を次に設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> [A]:いいえ。ユーザはどの値もスキャンでき、値 (スキャンされた奨励値) が一致する場合、この値の奨励値との比較検証は行われません。 	[1=E;2=A]	[1=A;2=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
		<ul style="list-style-type: none">• [B]:はい。ユーザはどの値もスキャンできません。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。• [C]:はい。ユーザはどの値もスキャンできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。• [D]:はい。ユーザはどの値もスキャンできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。• [E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。• [F]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。• [G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。• [H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。• [I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。	
	注:	<ul style="list-style-type: none">• データが指定されていない場合、値 [A] がすべてのフィールドのデフォルトになります。• 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。	

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

梱包再梱包トランザクション

梱包再梱包トランザクションを使用して次のことができます。

- 納入梱包の検索
- 梱包内容の一覧
- 在庫 ID (または ID の一部) を新規または既存の梱包に移動
- 梱包から全ての内容を新規または既存の梱包に移動
- 接続梱包の一覧 (同一納入の梱包)
- 梱包の解除
- 梱包ラベルの印刷

このトランザクションの設定についての詳細は、「再梱包トランザクションパラメータの設定」を参照してください。

このトランザクションは 3 つの画面から構成されます。

- 85 ページの梱包検索画面
- 85 ページの梱包一覧画面
- 86 ページの梱包内容画面
- 88 ページの品目移動画面
- 91 ページの全移動画面

梱包検索画面

梱包再梱包トランザクションを使用して、納入梱包の検索、内容の一覧、梱包ラベルの印刷、梱包解除、特定の品目またはすべての梱包内容を新規梱包または既存の梱包に移動することができます。

注: 指定された入力を確認されない場合、「一致するものが見つかりません」メッセージが表示されません。

検索梱包画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
入力フィールドの順序	[1]:検索 [2]:梱包 [3]:納入	[3;1]	[1;2;3]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

梱包一覧画面

この画面で、[梱包検索] 画面で指定した条件に基づいて納入梱包を一覧表示します。検索で梱包番号が指定されている場合、一覧には梱包のみが表示されるか、同じ納入のすべての梱包が表示されます。

一覧梱包画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
次へを押したときの処理	[0]:[次] ボタンは表示されません。画面は情報のみです [1]:[梱包内容] 画面が表示されます。 [2]:[全移動] 画面。	[2]	[1]
第1レコードの自動選択	[0]:いいえ [1]:常に第1レコードは自動選択されます。 [2]:はい、1つのレコードのみ一覧表示される場合	[2]	[0]
全ての納入梱包一覧	[0]:いいえ。画面にはスキャンした梱包のみが表示されます。 [1]: はい。画面にはスキャンされた梱包と同じ納入に含まれるすべての梱包が表示されます。 注: <ul style="list-style-type: none"> 梱包が [検索] 画面の検索条件の一部である場合、このパラメータはスキャン済梱包のみを表示するか、同じ納入のすべての梱包を一覧表示するかを制御します。 常にスキャン済梱包をハイライトします。 	[1]	[0]
最下位レベルの梱包のみをリスト	[0]:いいえ。画面には納入の一部である梱包のすべてが表示されます。 [1]:はい。画面には他の梱包に含まれていない梱包のみが表示されます。	[1]	[0]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

梱包内容画面

- この画面には、選択した納入梱包の内容が一覧表示されます。

[オプション] ボタンを表示することで複数のオプションを表示するようにボタンを設定することもでき、[印刷] または [全移動] または [全梱包解除] のみをボタンとして表示するように設定することもできます。

梱包内容画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
次へを押したときの処理	[0]:[次] ボタンは表示されません。画面は情報のみです [1]:[品目移動] 画面が表示されます。	[0]	[1]
第1レコードの自動選択	[0]:いいえ [1]:はい。第1レコードは自動的に確認されます。 [2]:はい、1つのレコードのみ一覧表示される場合	[2]	[0]
空の場合梱包から削除	[0]:いいえ。梱包内容は削除されません。 [1]:はい。梱包内容は削除されます。 注: [1] に設定する場合; 梱包はオプションの [全て梱包解除] を使用して梱包解除された後に自動的に削除されます。	[0]	[1]
全内容の移動オプションを有効化	[0]:いいえ。オプション [全移動] は利用できません。 [1]:はい。オプション [全移動] が利用できます。	[0]	[1]
梱包ラベルの印刷オプションを有効化	[0]:いいえ。オプション [印刷] は利用できません。 [1]:はい。オプション [印刷] が利用できます。 注: オプション 1 の場合、特定の梱包ラベルの印刷トランザクションプロファイルは、N; プロファイル ID フォーマットここで [N=1] を使用して設定することができます。プロファイルが設定されない場合、デフォルトプロファイル 梱包ラベルの印刷	[1;印刷プロファイル A]	[1]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	が使用されます。このパラメタはプロファイルID (プロファイル名ではない) を使用して設定されません。		
梱包解除オプションを有効化	[0]:いいえ。オプション [全 て梱包解除] は利用できません。 [1]:はい。オプション [全 て梱包解除] が利用できます。	[0]	[1]

注: パラメタの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

品目移動画面

この画面で、品目を保管場所の新しい梱包または既存の梱包に移動します。

品目移動画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドデータの自動確認	[1]:数量 [2]:終了梱包 [3]:梱包 入力フィールドは次の値を指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> [A]。いいえ。ユーザはスキャンするか、手動でデータを入力して値を確認する必要があります。 [B]。はい。フィールドは常に自動的に確認されます。 [C]。はい。奨励データが空白でない場合、フィールドは自動的に確認されます。 [D]。はい。奨励データが空白の場合、フィールドは自動的に確認されます。 	[1=B;2=A;3=C]	[1=A;2=A;3=A]
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
梱包ラベルの印刷 (梱包)	[0]:印刷なし [1]:新しい [終了梱包] が作成されると、ラベルを印刷するように促されます。 注: オプション 1 の場合、特定の梱包ラベルの印刷トランザクションプロファイルは、N; プロファイル ID フォーマットで [N=1] を使用して設定することができます。プロファイルが設定されない場合、デフォルトプロファイル 梱包ラベルの印刷が使用されます。このパラメタはプロファイル ID (プロファイル名ではない) を使用して設定されず。	[1;印刷プロファイル A]	[1]
入力フィールドの順序	情報フィールドは次のものです: <ul style="list-style-type: none">• [1]:品目• [2]:ロット• [3]:コンテナ 入力フィールド: <ul style="list-style-type: none">• [4]:数量• [5]:終了梱包• [6]:梱包	[1;6;5;4;2;3]	[1;2;3;4;5;6]
梱包入力フィールドの奨励データ	任意の文字	[ボックス]	未入力
先梱包入力フィールドの奨励データ	任意の梱包	*自動*	未入力
数量入力フィールドの奨励データ	固定 (任意の数値) [A]。梱包の数量合計	[A]	未入力
入力フィールドの奨励データの確認	入力フィールド: <ul style="list-style-type: none">• [1]:数量• [2]:終了梱包• [3]:梱包 ユーザは、フィールドの値を次に設定できます。	[1=D;2=A;3=E]	[1=A;2=A;3=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
		<ul style="list-style-type: none">• [A]:いいえ。ユーザはどの値もスキャンできて、値 (スキャン値と奨励値) が一致する場合、この値の奨励値との比較検証は行われません。• [B]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。• [C]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。• [D]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。• [E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。• [F]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。• [G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。• [H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。• [I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きく	

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<p>なることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。</p> <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> データが指定されない場合、値 [A] がデフォルトになります。 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。 		

注: パラメタの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

全移動画面

この画面で、梱包のすべての品目 (内容) を指定された保管場所にある新しい梱包または既存の梱包に移動します。

全移動画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドデータの自動確認	<p>[1]:終了梱包 [2]:梱包</p> <p>ユーザは入力フィールドに次の値を指定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> [A]:いいえ。ユーザはスキャンするか、手動でデータを入力して値を確認する必要があります。 [B]:はい。値は自動的に確認されます。 [C]:はい。奨励データが空白でない場合、値は自動的に確認されます。 [D]:はい。奨励データが空白の場合、値は自動的に確認されます。 	[1=B;2=A]	[1=A;2=A]

トランザクション処理

パラメタ名	値	例	デフォルト値
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
梱包ラベルの印刷 (終了梱包)	[0]:印刷なし [1]:新しい [終了梱包] が作成されると、ラベルを印刷するように促されます。 注: オプション 1 の場合、特定の梱包ラベルの印刷トランザクションプロファイルは、N; プロファイル ID フォーマットで [N=1] を使用して設定することができます。プロファイルが設定されない場合、デフォルトプロファイル 梱包ラベルの印刷が使用されます。このパラメータはプロファイル ID (プロファイル名ではない) を使用して設定されません。	[1;印刷プロファイル A]	[1]
入力フィールドの順序	入力フィールド: • [1]:終了梱包 • [2]:梱包	[2;1]	[1;2]
梱包入力フィールドの奨励データ	任意の文字	[ボックス]	未入力
先梱包入力フィールドの奨励データ	任意の梱包	[*自動*]	未入力
入力フィールド奨励データの確認	入力フィールド: • [1]:終了梱包 • [2]:梱包 ユーザは、フィールドの値を次に設定できます。 • [A]:いいえ。ユーザはどの値もスキャンできて、値 (スキャン値と奨励値) が一致する場合、この値の奨励値との比較検証は行われません。	[1=A;2=E]	[1=A;2=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
		<ul style="list-style-type: none"> • [B]:はい。ユーザはどの値もスキャンできません。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。 • [C]:はい。ユーザはどの値もスキャンできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。 • [D]:はい。ユーザはどの値もスキャンできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。 • [E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。 • [F]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。 • [G]:はい。スキャンされた値は奨励値より低くなつてはいけません。 • [H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 • [I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 	

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	注:		
	<ul style="list-style-type: none"> データが指定されない場合、値 [A] がデフォルトになります。 A、B および E の値のみが [終了梱包] と [梱包] フィールドに適用できます。 		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

梱包更新トランザクション

梱包更新トランザクションを使用して、納入梱包データを更新することができます。

このトランザクションの設定についての詳細は、「梱包更新トランザクションパラメータの設定」を参照してください。

このトランザクションは [更新] 画面から構成されます。

梱包更新トランザクションを開くには、メインメニューから、このトランザクションと関連付けられているトランザクションプロファイルを選択します。画面には、必要な特定の梱包に対して更新されるフィールドが表示されます。

梱包更新画面

この画面で、納入梱包データを更新します。

梱包更新画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
報告処理	[0]:なし。情報のみ。 [1]:梱包更新詳細	[0]	[1]
入力フィールドデータの自動確認	ユーザは梱包を指定することでこの値を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> 重量 容積 フリー容量ユニット 長さ 幅 高さ 	[10=B;1=C]	[1=2/3/4/5/6/7/8/9/10]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> リマーク 商品マーク 外部追跡番号 梱包 <p>フィールドは次の選択に基づいて報告されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> [A]:いいえ。フィールドはスキャンするか、手動でデータを入力して確認する必要があります。 [B]:はい。値は自動的に確認されます。 [C]:はい。奨励データが空白でない場合、値は自動的に確認されます。 [D]:はい。奨励データが空白の場合、値は自動的に確認されます。 		
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	<p>[0]:いいえ。情報を処理するには、ユーザが [次] を手動で選択する必要があります</p> <p>[1]:はい。すべての入力フィールドが確認されると情報は自動的に処理されます。</p>	[1]	[0]
梱包ラベルの印刷	<p>[0]:印刷なし</p> <p>[1]:手動印刷 (機能ボタン)</p> <p>[2]:梱包が更新された後に印刷するように促します (手動印刷も可能)。</p> <p>注: オプション 1 と 2 の場合、特定「梱包ラベルの印刷」トランザクションプロファイルは次を使用して設定することができます。「N;プロファイルID」フォーマットで N = [1] または [2]。プロファイルが設定されない場合、</p>	[2];印刷プロファイル [A]	[1]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	デフォルト「梱包ラベルの印刷」を使用します。 このパラメータはプロファイル ID (プロファイル名ではない) を使用して設定されます。		
入力フィールドの順序	ユーザは梱包を指定することでこの値を変更できます。 <ul style="list-style-type: none">重量容積フリー容量ユニット長さ幅高さリマーク商品マーク外部追跡番号梱包 注: 梱包はパラメータの設定に関係なく毎回画面上の最初のフィールドです。	[1;2;9;10]	[1;2;3;4;5;6;7;8;9;10]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

資材出庫トランザクション

資材出庫トランザクションを使用して、製造作業を検索し、出庫または資材返品をレポートできます。

このトランザクションの設定についての詳細は、「[資材トランザクションパラメータの設定](#)」を参照してください。

このトランザクションは 6 つの画面から構成されます。

- 97 ページの作業検索画面
- 98 ページの作業一覧画面
- 99 ページの資材一覧画面
- 99 ページの在庫 ID 一覧画面
- 100 ページの出庫報告画面
- 103 ページの返品レポート画面

資材出庫トランザクションを開くには、メインメニューから、このトランザクションと関連付けられているトランザクションプロファイルを選択します。

作業検索画面

この画面で、製造オーダー作業を検索します。

ユーザは次のフィルタに基づいてオーダー作業を検索できます。

- レポート番号 (作業)
- レポート番号(資材)
- 製品
- オーダ
- 作業
- ワークセンタ
- ロット

作業の検索画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
開始日入力フィールドのデフォルトデータ	単一の数値が割り当てられます。 [開始日付] 値が [作業終了日] より前で、[終了日] の入力が [作業開始日] より後である場合、作業が検索に含まれます。 注: N に設定すると、出発日付 ≤ 今日 - N 日数でオーダー明細を一覧表示します。	[14]	[300]
作業状況入力フィールドのデフォルトデータ	数値の範囲	[00-89]	[00-99]
終了日入力フィールドのデフォルトデータ	単一の数値が割り当てられます。 ユーザは、現在の日付から日数を設定できます。 [開始日付] 値が [作業終了日] より前で、[終了日] の入力が [作業開始日] より後である場合、作業が検索に含まれます。	[14]	[300]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	Nに設定すると、出発日付 ≤ 今日 - N 日数でオーダー明細を一覧表示します。		
ワークセンタ入力フィールドのデフォルトデータ	英数字のコード	[DRILL02]	未入力
検索フィールド検索順序	検索フィールドの順序: <ul style="list-style-type: none"> • [1]:レポート番号(作業) • [2]:製品 • [3]:オーダー • [4]:作業 • [5]:ワークセンタ • [6]:ロット • [7]:レポート番号(資材) 	[2;3;4]	[1;2;3;4;5;6;7]
フィルタフィールドの順序	フィルタフィールドの順序: <ul style="list-style-type: none"> • [1]:検索 • [2]:レポート番号(作業) • [3]:製品 • [4]:オーダー • [5]:作業 • [6]:ワークセンタ • [7]:ロット • [8]:レポート番号(資材) 	[1;4;6]	[1;2;3;4;5;6;7;8]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

作業一覧画面

この画面で、[作業の検索] 画面の検索フィルタに基づく作業を一覧表示します。

作業一覧画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
第1レコードの自動選択	[0]:いいえ [1]:はい - 毎回 [2]:はい - 1つのレコードしか一覧されない場合	[2]	[0]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

資材一覧画面

この画面で、[作業一覧] 画面で選択した作業に関連する資材を一覧表示します。

資材一覧画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
選択を押したときの処理	[1]:[出庫報告] 画面が表示されます。 [2]:[返品報告] 画面が表示されます。	[2]	[1]
第1レコードの自動選択	[0]:いいえ [1]:はい - 毎回 [2]:はい - 1つのレコードしか一覧されない場合	[2]	[1]
在庫 ID 検索 - 順序	検索の順序: <ul style="list-style-type: none"> • [1]:品目 • [2]:ロット • [3]:コンテナ • [4]:保管場所 注:このパラメータが空白に設定されている場合、在庫 ID 検索は実行されません。	[2;1]	未入力
在庫 ID 検索 - 在庫ゾーン	任意の文字	[Z1]	未入力
新規資材明細の追加オプションの有効化	[0]:いいえ [1]:はい	[0]	[1]
含める資材状況	数値の範囲	[23-39]	[00-99]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

在庫 ID 一覧画面

この画面で、[在庫 ID 検索] 画面で指定した検索に基づく在庫 ID を一覧表示します。

在庫 ID 一覧画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
第1レコードの自動選択	[0]:いいえ [1]:はい - 毎回	[1]	[0]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[2]:はい - 1つのレコード しか一覧されない場合		
表示対象数量	[0]:手持在庫合計 [1]:引当可能 (手持在庫 - 引当数量) [2]:移動可能 (手持在庫 - ピックリスト数量 - 保留 格納数量)	[1]	[0]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

出庫報告画面

この画面で、選択作業の資材の出庫を報告します。

出庫報告画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
API 警告を表示しない	[1,2,3,4,5,6,7]	[1;3]	未入力
入力フィールドデータの 自動確認	入力フィールド: <ul style="list-style-type: none"> [1]:保管場所 [2]:資材 [3]:数量 ユーザは入力フィールド に次の値を指定できま す。 <ul style="list-style-type: none"> [A]:いいえ。ユーザは スキャンするか、手動 でデータを入力して値 を確認する必要があります。 [B]:はい。値は自動的 に確認されます。 [C]:はい。奨励データ が空白でない場合、 値は自動的に確認さ れます。 [D]:はい。奨励データ が空白の場合、値は 自動的に確認されま す。 	[1=A;2=A]	[1=A;2=A;3=A]
全フィールドが確認済で ある場合次を自動トリガ	[0]:いいえ	[1]	[0]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[1]:はい		
計量重量入力	[0]:任意。 [1]:必須。	[1]	[0]
入力フィールドの順序	入力フィールドの順序: <ul style="list-style-type: none"> [1]:保管場所 [2]:資材 [3]:ロット [4]:コンテナ [5]:数量 [6]:計量重量 	[1;5;4;3;2]	[1;2;3;4;5;6]
保管場所入力フィールドの奨励データ	任意の保管場所の値 注: アプリケーションが在庫 ID 検索を実行するとき、このフィールドは有効ではありません。	[PROD01]	未入力
数量入力フィールドの奨励データ (資材選択済)	任意の数値 残数	[1]	未入力
数量 (残高 ID 選択済) 入力フィールドの奨励データ	任意の数値を指定でき、または次も可能です。 <ul style="list-style-type: none"> [A]: 残数を指定できます。 [B]: 在庫 ID 検索から手持在庫数量合計を指定できます。 [C]: 引当可能 (手持在庫 - 引当数量) [D]: 移動可能 (手持在庫 - ピックリスト数量 - 保留格納数量) 	[B]	未入力
入力フィールドの奨励データの確認	[1]:保管場所 [2]:数量 ユーザは、フィールドの値を次に設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> [A]:いいえ。ユーザはどの値もスキャンでき、値 (スキャンされた奨励値) が一致する場合、この値の奨励値との比較検証は行われません。 	[1=B;2=C]	[1=A;2=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
		<ul style="list-style-type: none">• [B]:はい。ユーザはどの値もスキャンできません。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。• [C]:はい。ユーザはどの値もスキャンできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。• [D]:はい。ユーザはどの値もスキャンできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。• [E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。• [F]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。• [G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。• [H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。• [I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。	

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	注:		
	<ul style="list-style-type: none"> データが指定されない場合、値 [A] がデフォルトになります。 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。 		

注: パラメタの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

返品レポート画面

この画面で、選択作業の資材返品をレポートします。

返品レポート画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
API 警告を表示しない	[1,2,3,4,5,6,7]	[1;3]	未入力
入力フィールドデータの自動確認	入力フィールド: <ul style="list-style-type: none"> [1]:保管場所 [2]:資材 ユーザは入力フィールドに次の値を指定できません。 <ul style="list-style-type: none"> [A]:いいえ。ユーザはスキャンするか、手動でデータを入力して値を確認する必要があります。 [B]:はい。値は自動的に確認されます。 [C]:はい。奨励データが空白でない場合、値は自動的に確認されます。 [D]:はい。奨励データが空白の場合、値は自動的に確認されます。 	[1=A;2=B]	[1=A;2=A]
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
入力フィールドの順序	入力フィールドの順序:	[1;5;4;3;2]	[1;2;3;4;5;6]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> • [1]:保管場所 • [2]:資材 • [3]:ロット • [4]:コンテナ • [5]:数量 • [6]:計量重量 		
保管場所入力フィールドの奨励データ	<p>任意の保管場所の値</p> <p>注: アプリケーションが在庫 ID 検索を実行するとき、このフィールドは有効ではありません。</p>	[PROD01]	未入力
入力フィールドの奨励データの確認	<p>[1]:保管場所</p> <p>ユーザは、フィールドの値を次に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [A]:いいえ。ユーザはどの値もスキャンでき、値 (スキャンされた奨励値) が一致する場合、この値の奨励値との比較検証は行われません。 • [B]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。 • [C]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。 • [D]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。 • [E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。 	[1=B]	[1=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> • [F]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。 • [G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。 • [H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 • [I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 		
	注:		
	<ul style="list-style-type: none"> • データが指定されない場合、値 [A] がデフォルトになります。 • 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。 		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

作業報告トランザクション

作業報告トランザクションを使用して、検索フィルタに基づく作業を一覧表示し、製造オーダ作業の詳細を報告することができます。

このトランザクションの設定についての詳細は、「作業報告トランザクションパラメータの設定」を参照してください。

このトランザクションは 3 つの画面から構成されます。

- 106 ページの作業検索画面
- 107 ページの作業一覧画面
- 108 ページの作業報告画面

作業報告トランザクションを開くには、メインメニューから、トランザクションと関連付けられているトランザクションプロファイルを選択します。

作業検索画面

この画面で、報告する必要がある製造オーダー作業を検索します。

ユーザは次の項目に基づいて作業を検索できます。

- レポート番号
- 製品
- オーダ
- 作業
- ワークセンタ
- ロット

作業の検索画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
開始日入力フィールドのデフォルトデータ	単一の数値が割り当てられます。 ユーザは、現在の日付から日数を設定できます。 [開始日付] 入力フィールドが [作業終了日] より前で、[終了日] の入力が入力が [作業開始日] より後である場合、作業エンティティが検索フィルタに含まれます。	[14]	[300]
作業状況入力フィールドのデフォルトデータ	数値の範囲	[00-89]	[00-99]
終了日入力フィールドのデフォルトデータ	単一の数値が割り当てられます。 ユーザは、現在の日付から日数を設定できます。 [開始日付] 入力フィールドが [作業終了日] より前で、[終了日] の入力が入力が [作業開始日] より後であ	[14]	[300]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	る場合、作業エンティティが検索フィルタに含まれます。		
ワークセンタ入力フィールドのデフォルトデータ	任意の英数字	[DRILL02]	未入力
検索フィールド検索順序	検索フィールドの順序:	[2;3;4]	[1;2;3;4;5;6]
	<ul style="list-style-type: none"> • [1]:レポート番号(作業) • [2]:製品 • [3]:オーダ • [4]:作業 • [5]:ワークセンタ • [6]:ロット 		
フィルタフィールドの順序	フィルタフィールドの順序:	[1;4;6]	[1;2;3;4;5;6;7]
	<ul style="list-style-type: none"> • [1]:検索 • [2]:レポート番号(作業) • [3]:製品 • [4]:オーダ • [5]:作業 • [6]:ワークセンタ • [7]:ロット 		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

作業一覧画面

この画面で、[作業の検索] 画面に基づく作業を表示します。報告される作業を選択できます。

作業一覧画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
第1レコードの自動選択	[0]:いいえ [1]:はい - 毎回 [2]:はい - 1つのレコードしか一覧されない場合	[2]	[0]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

作業報告画面

この画面で、引当可能数量と検索した在庫 ID の状況を表示します。

作業報告画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
API 警告を表示しない	[1,2,3,4]	[1;3]	未入力
入力フィールドデータの自動確認	入力フィールド: <ul style="list-style-type: none"> • [1]:従業員 • [2]:製品 • [3]:製造数量 • [4]:廃棄理由 ユーザは入力フィールドに次の値を指定できません。 <ul style="list-style-type: none"> • [A]:いいえ。ユーザはスキャンするか、手動でデータを入力して値を確認する必要があります。 • [B]:はい。値は自動的に確認されます。 • [C]:はい。奨励データが空白でない場合、値は自動的に確認されます。 • [D]:はい。奨励データが空白の場合、値は自動的に確認されます。 	[1=B;2=A]	[1=A;2=A;3=A;4=A]
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
入力フィールドの順序	入力フィールドの順序: <ul style="list-style-type: none"> • [1]:従業員 • [2]:製品 • [3]:製造数量 • [4]:廃棄数量 • [5]:廃棄理由 • [6]:労務実行時間 • [7]:労務段取時間 • [8]:機械実行時間 	[1;6;5;4;2;3]	[1;2;3;4;5;6;7;8;9]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> • [9]:機械段取時間 		
入力フィールド従業員の 奨励データ	任意の文字の値 [*USER] 注: *User はログオン ユーザを表します	[*USER]	未入力
数量入力フィールドの奨 励データ	任意の数値または A. 残数量	[A]	未入力
入力フィールド不良理由 の奨励データ	任意の文字コード	[R1]	未入力
入力フィールドの奨励 データの確認	[1]:従業員 [2]:製造数量 <ul style="list-style-type: none"> • [A]:いいえ。ユーザはどの値もスキャンでき、値 (スキャンされた奨励値) が一致する場合、この値の奨励値との比較検証は行われません。 • [B]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。 • [C]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。 • [D]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。 • [E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。 • [F]:はい。スキャンした値は奨励値より大 	[1=B;2=C]	[1=A;2=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<p>きくなることはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。 • [H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 • [I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> • データが指定されない場合、値 [A] がデフォルトになります。 • 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。 		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

倉庫移動トランザクション

倉庫移動トランザクションを使用して、配送オーダー (DO)、取得オーダー正 (RO+)、取得オーダー負 (RO-) または移動オーダー (MOVE) を作成することができます。

このトランザクションの設定についての詳細は、「倉庫移動トランザクションパラメータの設定」を参照してください。

このトランザクションは 5 つの画面で構成されます。

- 111 ページのオーダー詳細画面
- 112 ページの在庫 ID 検索画面

- 112 ページの在庫 ID 一覧画面
- 113 ページの明細を追加画面
- 116 ページの明細画面

倉庫移動トランザクションを開くには、メインメニューから、このトランザクションと関連付けられているトランザクションプロファイルを選択します。

オーダー詳細画面

この画面で、倉庫移動の新規オーダーを作成するために必要な詳細を指定します。

ユーザは次の注文詳細を指定できます。

- 1 オーダ区分 (全て)
- 2 転送元倉庫 (全て)
- 3 先倉庫 (DO)
- 4 理由 (RO+/RO-)

オーダー詳細画面パラメータ

パラメータ名	値	例	デフォルト値
次へを押したときの処理	[1]:[在庫 ID 検索] 画面を表示します。 [2]:[明細を追加] 画面を表示します。	[2]	[1]
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
元倉庫入力フィールドのデフォルトデータ	任意の倉庫	[001]	未入力
オーダー区分入力フィールドのデフォルトデータ	任意のオーダー区分	[DO1]	未入力
理由入力フィールドのデフォルトデータ	任意の理由	[BRK]	未入力
先倉庫入力フィールドのデフォルトデータ	任意の倉庫	[002]	未入力
入力フィールドの順序	入力フィールドの順序: 1 オーダ区分 (全て) 2 転送元倉庫 (全て) 3 先倉庫 (DO) 4 理由 (RO+/RO-)	[1;2]	[1;2;3;4]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

在庫 ID 検索画面

この画面で、在庫 ID を検索します。

在庫 ID 検索画面パラメタ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
検索フィールド検索順序	検索フィールドの順序: [1]:保管場所 [2]:品目 [3]:ロット [4]:コンテナ	[2;3;4]	[1;2;3;4]
フィルタフィールドの順序	フィルタフィールドの順序: [1]:検索 [2]:保管場所 [3]:品目 [4]:ロット [5]:コンテナ	[1;3;4]	[1;2;3;4;5]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

在庫 ID 一覧画面

この画面で、[在庫 ID 検索] 画面で指定した検索に基づく在庫 ID を一覧表示します。

在庫 ID 一覧画面パラメタ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
第 1 レコードの自動選択	[0]:いいえ [1]:はい - 毎回 [2]:はい - 1 つのレコードしか一覧されない場合	[1]	[0]
全て選択の自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
全て選択オプションを有効化	[0]:いいえ [1]:はい 注: フィルタリストにスキャンした後、[全て選択] オプションは表示されません。	[0]	[1]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
表示対象数量	[0]:手持在庫合計 [1]:引当可能 (手持在庫 - 引当済数量)	[1]	[0]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

明細を追加画面

この画面で、倉庫移動用に作成されたオーダに 1 つまたは複数の明細を追加します。

明細を追加画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドデータの自動確認	[1]:数量 [2]:保管先 [3]:計量重量 ユーザは入力フィールドに次の値を指定できません。 <ul style="list-style-type: none"> [A]:いいえ。ユーザはスキャンするか、手動でデータを入力して値を確認する必要があります。 [B]:はい。値は自動的に確認されます。 [C]:はい。奨励データが空白でない場合、値は自動的に確認されます。 [D]:はい。奨励データが空白の場合、値は自動的に確認されます。 	[1=B;2=B]	[1=A;2=A;3=A]
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
計量重量入力	[0]:フィールドはオプションです。 [1]:フィールドは必須です。	[1]	[0]
必須入力フィールド	[1]:保管場所	[1]	未入力

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	注: 表示される場合、[数量] 入力フィールドは必須です。		
入力フィールドの順序	情報フィールドの順序: [1]:保管場所 (全て) [2]:品目 (全て) [3]:ロット (全て) [4]:コンテナ (全て) 入力フィールドの順序: [5]:数量 (全て) [6]:先保管場所 (DO/MOVE) [7]:計量重量 (RO+/RO-)	[1;5;4;3;2]	[1;2;3;4;5;7;6]
	注: [計量重量] 入力フィールドは取引区分 40 および 41 の購買オーダーに対してのみ表示されません。		
先保管場所入力フィールドの奨励データ	任意の先保管場所	[RECEIVING02]	未入力
数量入力フィールドの奨励データ	任意の数値または A. 在庫 ID から手持在庫数量合計 B. 在庫 ID から引当可能数量 (手持在庫 - 引当数量) 注: オプション A および B は在庫 ID 検索が実行された場合にのみ適用されます。	[1]	[A]
入力フィールドの奨励データの確認	[1]:数量 [2]:保管先 ユーザは、フィールドの値を次に設定できます。 • [A]:いいえ。ユーザはどの値もスキャンでき、値 (スキャンされた奨励値) が一致する場合、この値の奨励値との比較検証は行われません。	[1=F;2=B]	[1=A;2=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> • [B]:はい。ユーザはどの値もスキャンできません。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。 • [C]:はい。ユーザはどの値もスキャンできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。 • [D]:はい。ユーザはどの値もスキャンできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。 • [E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。 • [F]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。 • [G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。 • [H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 • [I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 		

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	注: データが指定されない場合、値 A がデフォルトになります。値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

明細画面

この画面で、追加した明細を一覧表示し、明細を削除し、オーダの作成を実行します。

ユーザ設定トランザクション

ユーザ設定トランザクションを使用して、ファシリティ、倉庫、プリンタ設定などのユーザ情報を更新できます。ユーザは Factory Track のユーザ拡張フォームでラベルと文書のプリンタ設定を変更できます。

このトランザクションの設定についての詳細は、「ユーザ設定トランザクションパラメータの設定」を参照してください。

ユーザ設定トランザクションにアクセスするには、メインメニューからこのトランザクションに関連付けられたトランザクションプロファイルを選択します。画面には、ユーザにリンクされているデフォルトファシリティ、倉庫およびプリンタ (ラベルと文書) が括弧で囲まれて表示されます。

[レポート] 画面パラメータ: この画面で、M3 ビジネスエンジンのユーザファシリティと倉庫、および FT のユーザ拡張フォームで指定されたプリンタを更新します。

ユーザ設定画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
ファシリティ入力フィールドのデフォルトデータ	任意の文字	[B01]	未入力
倉庫入力フィールドのデフォルトデータ	任意の文字	[002]	未入力
プリンタラベル入力フィールドのデフォルトデータ	任意の文字	[PRINTER01]	未入力
プリンタドキュメント入力フィールドのデフォルトデータ	任意の文字	[PRINTER02]	未入力

パラメタ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドの順序	[1]:ファシリティ [2]:倉庫 [3]:プリンタ-ラベル [4]:プリンタドキュメント	[1;2]	[1;2;3;4]

注: パラメタの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

格納トランザクションの確認

格納確認トランザクションを使用して格納タスクを確認または更新します。

このトランザクションの設定についての詳細は、「格納確認トランザクションパラメタの設定」を参照してください。

このトランザクションは 4 つの画面から構成されます。

- 117 ページの格納タスク検索画面
- 118 ページの格納タスク一覧画面
- 119 ページの格納タスク更新画面
- 122 ページの格納タスク報告画面

作業報告トランザクションを開くには、メインメニューから、トランザクションと関連付けられているトランザクションプロファイルを選択します。

格納タスク検索画面

この画面で、フィルタフィールドの数に基づいて格納タスクを検索します。ユーザは格納番号をスキャンすることによって特定の格納タスクを取得できます。

格納タスク検索画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
ゾーン入力フィールドのデフォルトデータ	任意のゾーン	[J1]	未入力
検索フィールド検索順序	<ul style="list-style-type: none"> • [1]:保管場所 • [2]:品目 • [3]:ロット • [4]:コンテナ • [5]:梱包 	[1;2;3;4;5;8]	[1;2;3;4;5;6;7;8]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> • [6]:ウェーブ • [7]:在庫ゾーン • [8]:格納番号 		
フィルタフィールドの順序	<ul style="list-style-type: none"> • [1]:検索 • [2]:保管場所 • [3]:品目 • [4]:ロット • [5]:コンテナ • [6]:梱包 • [7]:ウェーブ • [8]:在庫ゾーン • [9]:格納番号 	[1;2;3;4;5;6;9]	[1;2;3;4;5;6;7;8;9]

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

格納タスク一覧画面

この画面で、前の画面で指定した検索に基づいてすべての格納タスクを一覧表示します。

格納タスク一覧画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
選択を押したときの処理	[1]:格納タスク更新 [2]:格納タスク報告	[1]	[2]
第1レコードの自動選択	[0]:いいえ [1]:はい - 毎回 [2]:はい - 1つのレコード しか一覧されない場合	[1]	[0]
全て選択の自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
全て選択オプションを有効化	[0]:いいえ [1]:はい、一覧内のすべてのタスクがステージ済の場合 [2]:はい、一覧内のすべての格納タスクがステージ済でない場合 [3]:はい	[1]	[3]
表示する格納タスク	[0]:未ステージ [1]:ステージ済	[1]	[2]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	[2]:全て		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

格納タスク更新画面

この画面で、前の画面で選択した格納タスクを更新します。

格納タスク更新画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドデータの自動確認	入力フィールド: <ul style="list-style-type: none"> • [1]:保管場所 • [2]:ステージ済格納の保管場所 • [3]:数量 ユーザは入力フィールドに次の値を指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [A]:いいえ。ユーザはスキャンするか、手動でデータを入力して値を確認する必要があります。 • [B]:はい。値は自動的に確認されます。 • [C]:はい。奨励データが空白でない場合、値は自動的に確認されます。 • [D]:はい。奨励データが空白の場合、値は自動的に確認されます。 	[1=B;2=D;3=C]	[1=A;2=A;3=A]
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]

トランザクション処理

パラメタ名	値	例	デフォルト値
ステージ済格納入力フィールドのデフォルトデータ	[0]:未ステージ [1]:ステージ済 [2]:現行	[1]	未入力
保管場所参照 - 在庫ゾーン	任意のゾーン	[J1]	未入力
入力フィールドの順序	入力フィールドの順序: <ul style="list-style-type: none"> • [1]:保管場所 • [5]:数量 • [6]:ステージ済 情報フィールドの順序: <ul style="list-style-type: none"> • [2]:品目 • [3]:ロット • [4]:コンテナ 	[1;2;5;6]	[1;2;3;4;5;6]
保管場所入力フィールドの奨励データ	任意の保管場所: [*CUR] 現行 [*SYS] システム指向	[LOC123]	未入力
ステージ済格納の保管場所入力フィールドの奨励データ	任意の保管場所 <ul style="list-style-type: none"> • [*CUR] 現行 • [*SYS] システム指向 	[LOC123]	未入力
入力フィールド奨励データの確認	[1]:保管場所 [2]:ステージ済格納の保管場所 ユーザは、フィールドの値を次に設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [A]:いいえ。ユーザはどの値もスキャンでき、値 (スキャンされた奨励値) が一致する場合、この値の奨励値との比較検証は行われません。 • [B]:はい。ユーザはどの値も 	[1=B;2=A]	[1=A;2=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
		<p>スキャンできません。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [C]:はい。ユーザはどの値もスキャンできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。 • [D]:はい。ユーザはどの値もスキャンできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。 • [E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。 • [F]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。 • [G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。 • [H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。スキャンした値が奨励値より大 	

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<p>きい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> [I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。 <p>注: 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。</p>		

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。

格納タスク報告画面

この画面で、前の画面で選択した格納タスクを報告し確認します。

格納タスク報告画面パラメータ

パラメタ名	値	例	デフォルト値
入力フィールドデータの自動確認	<p>入力フィールド:</p> <ul style="list-style-type: none"> [1]:保管場所 [2]:ステージ済格納の保管場所 [3]:製造数量 [4]:廃棄理由 <p>ユーザは入力フィールドに次の値を指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> [A]:いいえ。ユーザはスキャンするか、手動でデータを入力して値を確認する必要があります。 [B]:はい。値は自動的に確認されます。 	[1=B;2=D]	[1=A;2=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
	<ul style="list-style-type: none"> [C]:はい。奨励データが空白でない場合、値は自動的に確認されます。 [D]:はい。奨励データが空白の場合、値は自動的に確認されます。 		
全フィールドが確認済である場合次を自動トリガ	[0]:いいえ [1]:はい	[1]	[0]
保管場所参照 - 在庫ゾーン	任意のゾーン	[J1]	未入力
入力フィールドの順序	入力フィールドの順序: <ul style="list-style-type: none"> [1]:保管場所 [5]:数量 情報フィールドの順序: <ul style="list-style-type: none"> [2]:品目 [3]:ロット [4]:コンテナ 	[1;2;5;6]	[1;2;3;4;5]
保管場所入力フィールドの奨励データ	任意の保管場所: [*CUR] 現行 [*SYS] システム指向	[LOC123]	未入力
保管場所ステージ済格納入力フィールドの奨励データ	任意の保管場所: [*CUR] 現行 [*SYS] システム指向	[LOC123]	未入力
入力フィールドの奨励データの確認	[1]:保管場所 [2]:ステージ済格納の保管場所 ユーザは、フィールドの値を次に設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> [A]:いいえ。ユーザはどの値もスキャンでき、値 (スキャンされた奨励値) が一致する場合、この値の奨励値との比較検証は行われません。 [B]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値と一致しない場合、警告メッセージが表示されます。 	[1=B;2=A]	[1=A;2=A]

パラメタ名	値	例	デフォルト値
		<ul style="list-style-type: none">• [C]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値より大きい場合、警告メッセージが表示されます。• [D]:はい。ユーザはどの値もスキャンできます。スキャンした値が奨励値より小さい場合、警告メッセージが表示されます。• [E]:はい。スキャンされた値が奨励値と一致する必要があります。• [F]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。• [G]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。• [H]:はい。スキャンした値は奨励値より小さくなることはできません。スキャンした値が奨励値より大きい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。• [I]:はい。スキャンした値は奨励値より大きくなることはできません。スキャンした値が奨励値より小さい場合、アプリケーションに警告メッセージが表示されます。	
		注: 値 C、D、F、G、H、I は、数値フィールドにのみ適用されます。	

注: パラメータの値を指定しないか、無効な値を指定すると、デフォルト値が使用されます。